ONKYO

ハードディスク
ミュージック・ライブラリー

MB-S1

取扱説明書

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書と
ともに大切に保管してください。

箱を開けたら、まず

操作を始める前に

操作のしかた

付属ソフトウェア
（Carry Tunes）

その他

主な特長

■ 音楽CDからMP3[*1]音楽データへのエンコード、およびデコード。

- 音楽 CD の曲を MP3 方式を用いて、標準ビットレート 128kbps で約 1/10 に圧縮して記録。
- ビットレート[*2] は、非圧縮、96、128、192kbps を選択可能。
- ID3 タグ[*3] 情報（タイトル、アルバム、アーティスト等）の表示・編集機能。
- 内蔵 CD ドライブに加え、ディジタル入力、アナログ入力、USB を経由してパソコンからの録音入力が選択可能。
- ID3 タグのほか各種ファイル情報による強力なソート（並び換え）機能を用いたプレイモードを設定可能。
- お気に入り曲設定機能。

■ 音楽CD・CD-Rの再生

- 通常の音楽 CD に加え CD-R に記録された MP3 フォーマットの音楽データの再生が可能。
- CD-R に記録された MP3 データを、通常の CD 録音の約 10 倍速で HDD（ハードディスクドライブ）にダビング可能。（高速記録「QUICK REC」する場合）

■ 内蔵のハードディスク（HDD）による長時間録音・再生

- HDD のドライブ部は FDB（流体軸受け）モータ方式によりオーディオ回転機器としてふさわしい画期的な低振動駆動を実現、安定再生が可能。
- 内蔵 CD ドライブや外部デジタル／アナログ入力から HDD に MP3 音楽データを長時間録音、再生。20GB（ギガバイト） HDD で 標準ビットレート 128kbps にて約 350 時間の記録が可能。
- タイマー機能による長時間留守録。

■ パソコンから音楽ファイルの転送

- パソコンに保管されている MP3 ファイルを USB 経由で本機に転送、HDD に記録できる転送用ソフト「CarryTunes」を標準添付。

*1 **MP3**
画像圧縮方式MPEG（エムペグ）1の音声規格。

*2 **ビットレート**
1秒間にシステムが扱える最大ビット容量のこと。
ビットはデジタルにおける0と1で表される最小単位。
kbpsとはキロビット/秒で、数字が大きいほど情報量は多くなる。

*3 **ID3タグ**
MP3ファイルの、付属文字情報を保存する領域のこと。
MP3ファイルの末尾に30文字までのテキストで、アルバム名やアーティスト名などを入力できます(最大128バイトまでの文字)。ID3タグに対応したプレーヤーで、表示・編集が可能となります。

PICT, Inc.

本機のデジタルコントローラー基板およびファームウエアは、QPICT（キュービクト）社によって開発、供給されています。

目次

箱を開けたら、まず

主な特長 2
目次 3
オーディオ機器の正しい使いかた 4
付属品を確認する／リモコンを準備する 9

操作を始める前に

各部の名称と働き 10
接続する 14
CD・CD-R・内蔵HDDについて 16
デジタル入力録音時のルールについて 17

操作のしかた

共通の基本操作を理解する 18
日付と現在時刻を設定する 21
音楽CD、CD-Rを聞く 22
録音する 24
HDDを聞く 28
HDDに録音したトラック（曲）に名前をつける 30
HDDに録音したトラックの消去 32
プレイリストを作る 34
プレイリストを聞く 36
プレイリストを編集する 38
再生のいろいろな操作 41
タイマー機能を使う 44
仕様 46

付属ソフトウェア（Carry Tunes）

Carry Tunesについて 47
必要なシステム構成 48
付属CD-ROM（Carry Tunes インストールディスク）を開封する前に 48
パソコンの設定 49
Carry Tunesのインストール 53
Carry Tunesを操作する 54

その他

故障？と思ったら 56
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内 59
修理について ..... 裏表紙

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにUSBケーブルをはずし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。
  - 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
  - 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
  - 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

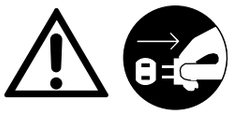
オーディオ機器の正しい使いかた

⚠警告

■ 中に物を入れない

- 本機の通風孔などから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら



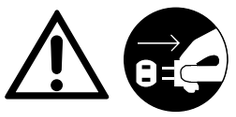
- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにUSBケーブルをはずし、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない



- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。USBケーブルをはずし、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

- 雷が鳴りだしたら、製品本体や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

指をはさまれないように注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、USBケーブルをはずし、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のためUSBケーブルをはずし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

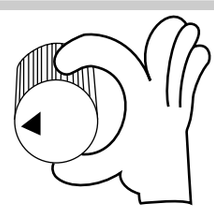
- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

音のエチケット

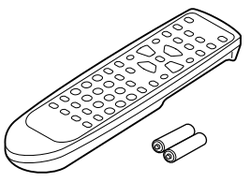
楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



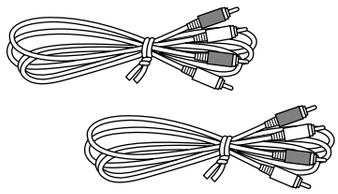
付属品を確認する

本機に以下の付属品が含まれているかどうかを確認してください。（　）内の数字は個数を表します。

リモコン…（1）
乾電池（単三型）…（2）

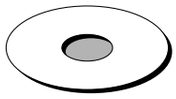


オーディオ用ピンコード…（2）

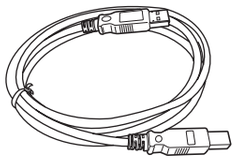


RI ケーブル…（1）

Carry Tunes（キャリーチューンズ） インストールディスク…（1）



USBケーブル…（1）

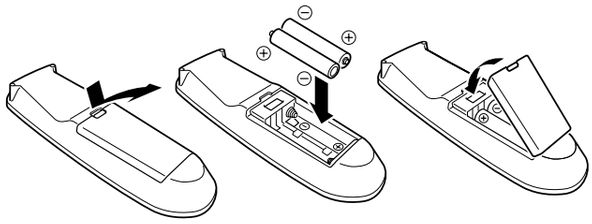


取扱説明書…（1）
保証書…（1）

リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向にずらしてあける
2. 中の極性表示にしたがって、付属の乾電池2個を＋（プラス）と－（マイナス）を間違えないように入れる
3. カバーを戻す

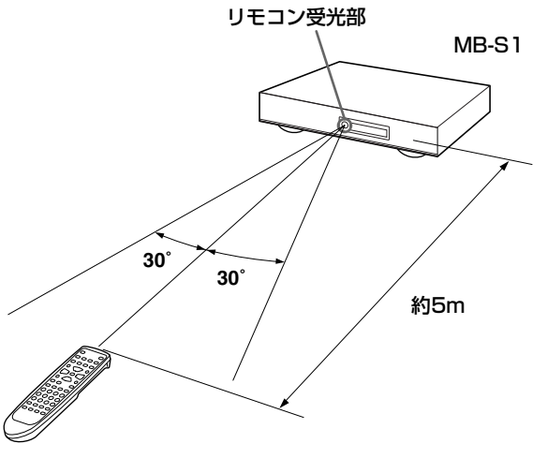


ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておくと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、ただちに古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属のマンガン電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3型をご使用ください。

リモコンを使うには

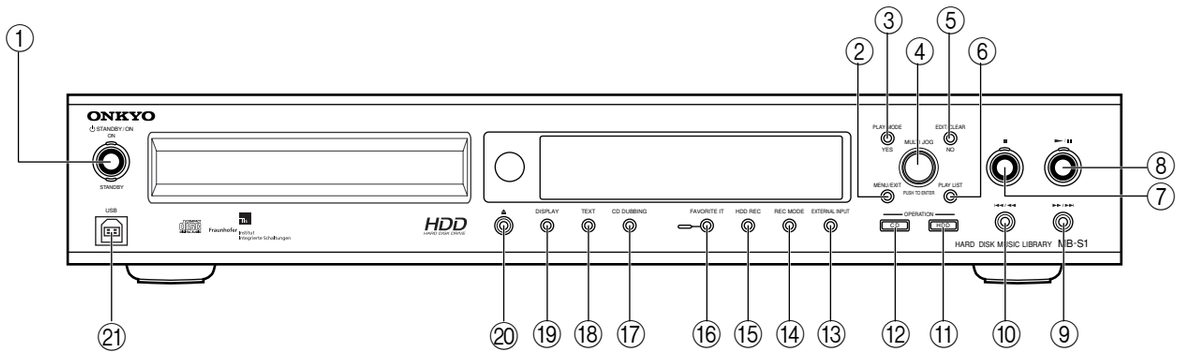
リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名称と働き



① STANDBY/ONボタン［20］

本機の電源を入れたり、スタンバイ状態にします。

② MENU/EXITボタン［21、27、44］

メニューモードに切り換えます。また、何かのモード操作中にやめたいときに押すと、そのモードが終了します。

③ PLAY MODE/YESボタン［30、32～34、41、42］

ジョグダイヤルと組み合わせて、プレイモードを切り換えます。

④ ジョグダイヤル／ボタン［34、38］

グループ(フォルダー)番号を選択をします。各種モード設定中は、各パラメーターの選択操作になります。また、いろいろな入力を確定します。（リモコンの場合は12ページ⑲SELECT ボタン参照）

⑤ EDIT/CLEAR/NOボタン［31～33］

各種モード／パラメーターを設定する状態に切り換えます。設定中にYES/NO選択するときはNoの動作をします。タグ情報の編集中はCLEARボタンになります。

⑥ PLAY LISTボタン［36、38～40］

ジョグダイヤルと組み合わせて、プレイリスト（プログラムメモリ再生を100セットまで持てます）を切り換えます。

⑦ ■（ストップ）ボタン［22、28、36］

CD/HDDの再生や録音を停止します。

⑧ ►/❚❚（再生／一時停止）ボタン［22、28、36、38］

CD/HDDを再生・録音スタートします。
再生・録音中に押すと、一時停止状態になります。もう一度押すと再び再生・録音を始めます。

⑨ ►►/►►|ボタン［22、28、31、36］

押すと、次のトラックの頭出しをします。また、押し続けると早送りになります。

⑩ |◄◄/◄◄ボタン［22、28、31、36］

押すと、再生中のトラックまたは前のトラックの頭出しをします。また、押し続けると早戻しになります。

⑪ HDDボタン［20、28、36］

操作モードをHDDに切り換えます。

⑫ CDボタン［20、22］

操作モードをCDに切り換えます。

⑬ EXTERNAL INPUTボタン［26］

外部入力ANALOG（アナログ）→DIGITAL-1（光）→DIGITAL-2（同軸）の順に切り換わります。

⑭ REC MODEボタン［24～26］

録音モードを切り換えます。
MP3 128kbps→MP3 192kbps→PCM→MP3 96kbpsの順に切り換わります。

⑮ HDD RECボタン［24～26］

録音待機状態にします。また、もう一度押して、録音先のグループを選びます。

⑯ FAVORITE ITボタンおよびインジケーター［42］

現在選択･演奏しているトラックを、お気に入りに指定します。もう一度押すと解除されます。

⑰ CD DUBBINGボタン［25］

CD1枚をワンタッチでHDDに録音します。（MP3 CDの場合はグループを録音）

⑱ TEXTボタン［30、38］

文字入力・編集モードにします。

⑲ DISPLAYボタン［30、31、43］

表示部の表示（TITLE、ALBUM、ARTIST、GENRE、DATE、GROUP）を切り換えます。入力した文字が表示されます。

⑳ ▲（オープン／クローズ）ボタン［20、22］

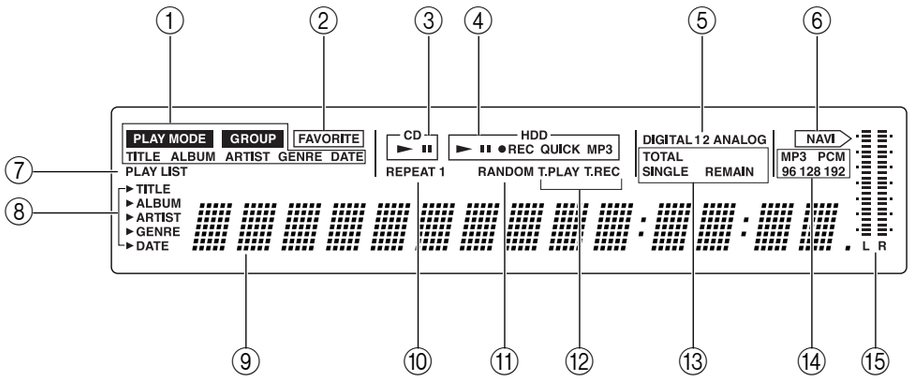
CDトレイを開閉します。

㉑ USB接続端子［14、49］

PCと接続し、専用のPCアプリケーションソフト「Carry Tunes」で、本機のHDDにMP3音声ファイルを転送できます。PCの電源を落とさなくても抜き差しできる機能（ホットプラグ）に対応しています。

フロントパネルの表示部

詳しい説明は、［ ］のページをご覧ください。



① PLAY MODE表示

選択されているプレイモードが点灯します。

② FAVORITE表示

お気に入りのトラックを演奏するときに点灯します。

③ CDモード表示

CDの演奏モードのときに点灯します。

④ HDDモード表示

HDDの演奏モードのときに点灯します。
QUICKは高速録音しているときに点灯ます。（27ページ参照）MP3はMP3変換して録音していることを示します。

⑤ DIGITAL 1／2、ANALOG表示

外部入力DIGITAL1（光）、DIGITAL2（同軸）またはANALOG （アナログ）が選択されていることを示します。

⑥ NAVI表示

現在の演奏位置表示のときに点灯します。

⑦ PLAY LIST表示

プレイリストに登録されたトラックを演奏するときに点灯します。

⑧ ▶TITLE、▶ALBUM、▶ARTIST、▶GENRE、▶DATE表示［43］

多目的表示部に現れる文字のモードを表示します。

⑨ 多目的表示部

⑩ REPEAT/REPEAT 1表示

リピート演奏しているときにREPEATが点灯します。
1トラックリピート時には、1も点灯します。

⑪ RANDOM表示

HDDでランダム再生をしているときに点灯します。

⑫ T.PLAY、T.REC表示［44］

タイマー再生、録音の動作がセットされているときに点灯します。

⑬ TOTAL、SINGLE、REMAIN表示［23、29］

時間表示のときに点灯します。

⑭ MP3、PCM、96、128、192表示

演奏しているトラックのエンコードモードを表示します。
MP3のときは、96、128、192kbpsの入力があるときに一緒に点灯します。

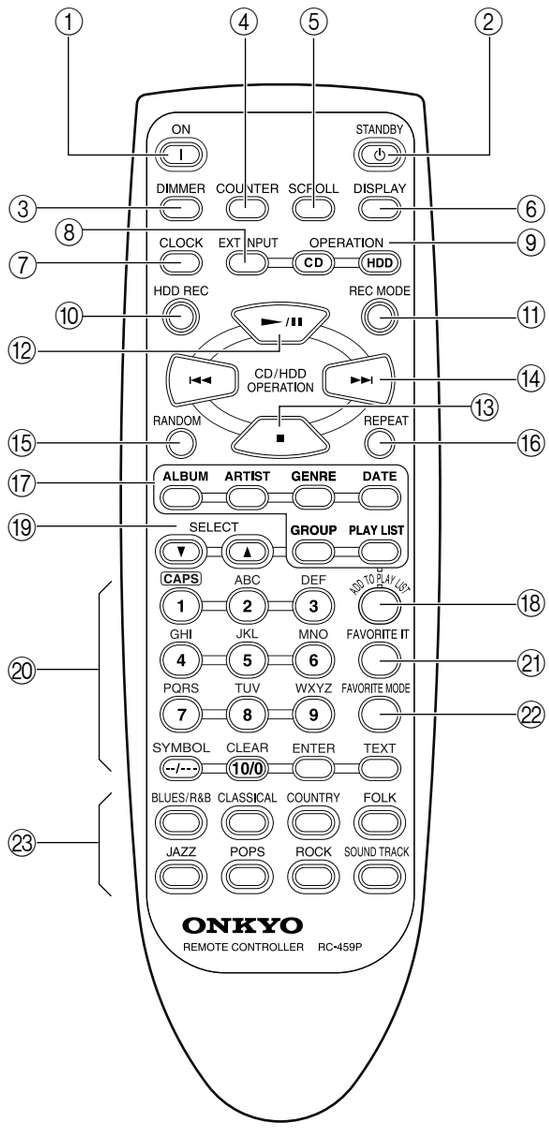
⑮ レベル表示

通常のレベルメーターまたはポジションナビ（現在の演奏位置）を表示します。グループモードのときは、左側のレベルメーターが現在のグループの全体の中での位置を示し、右側のレベルメーターがそのグループ内での現在のトラック位置を示します。

各部の名称と働き

リモコン

詳しい説明は、［ ］のページをご覧ください。



① ONボタン［20］

本機の電源を入れます。

② STANDBYボタン［20］

本機をスタンバイ状態にします。

③ DIMMERボタン［23、29］

表示部の明るさを調整します。

④ COUNTERボタン［23、29］

時間表示を切り換えます。

⑤ SCROLLボタン［23、29、31］

表示部の文字をスクロール（移動）します。

⑥ DISPLAYボタン［31、38、43］

表示を切り換えます。

⑦ CLOCKボタン［21、23、29］

表示部に曜日と時刻を表示します。

⑧ EXT INPUTボタン［27］

外部入力を切り換えます。
ANALOG（アナログ）→DIGITAL 1（光）→DIGITAL 2（同軸）の順に切り換わります。

⑨ OPERATIONボタン［20、23］

CD：操作モードをCD に切り換えます。

HDD：操作モードをHDD に切り換えます。

⑩ HDD RECボタン［24、27、29］

録音待機状態にします。また、もう一度押して、録音先のグループを選びます。

⑪ REC MODEボタン［24、27］

録音モードを切り換えます。
MP3 128kbps→MP3 192kbps→PCM→MP3 96kbps の順に切り換わります。

⑫ ►/❚❚（再生／一時停止）ボタン［23、29］

CD/HDDを再生・録音スタートします。再生・録音中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと再び再生·録音を始めます。

⑬ ■（ストップ）ボタン［23、29］

CD/HDDの再生や録音を停止します。

⑭ ⏮/⏭ボタン［23、29、31］

再生中のトラックを前後に飛び越します。停止状態で押すと、再生を始めるトラックを選択できます。

⑮ RANDOMボタン［28、29、37］

HDDでトラック順をランダムに並び換えて再生したいときに、このボタンでRANDOM ONに設定します。

⑯ REPEATボタン［22、23、28、29、37］

繰り返して再生したいときに、このボタンでREPEAT（リピート） ALL（オール）やREPEAT 1に設定します。

⑰ PLAY MODEボタン［41］

プレイモードを切り換えます。

ALBUM（アルバム）：アルバム表示にします。
ARTIST（アーティスト）：アーティスト表示にします。
GENRE（ジャンル）：ジャンル表示にします。
DATE（デート）：日付表示にします。
GROUP（グループ）：グループ表示にします。
PLAYLIST（プレイリスト）：プレイリスト表示にします。［37、38］

⑱ ADD TO PLAY LISTボタン［35］

現在選択・演奏しているトラックをプレイリストに追加します。

⑲ SELECTボタン［23、27、29、31］

グループ（フォルダー）番号を選択します。各種モード設定中は、各パラメーターの選択をします。

⑳ 数字ボタン/文字ボタン［23、29、31、39］

数字：再生するトラックを選択するときに使用します。
アルファベット／SYMBOL／数字：ディスク名やアーティスト名、トラック名をつけるときに使用します。
CLEAR：文字を取り消す時に押します。
ENTER：文字編集時に、入力した文字を確定する場合に押します。
TEXT：文字編集するときに押します。

㉑ FAVORITE IT ボタン［43］

自分の好きな曲（お気に入り）を選んでまとめて演奏することができます。

㉒ FAVORITE MODE ボタン［43］

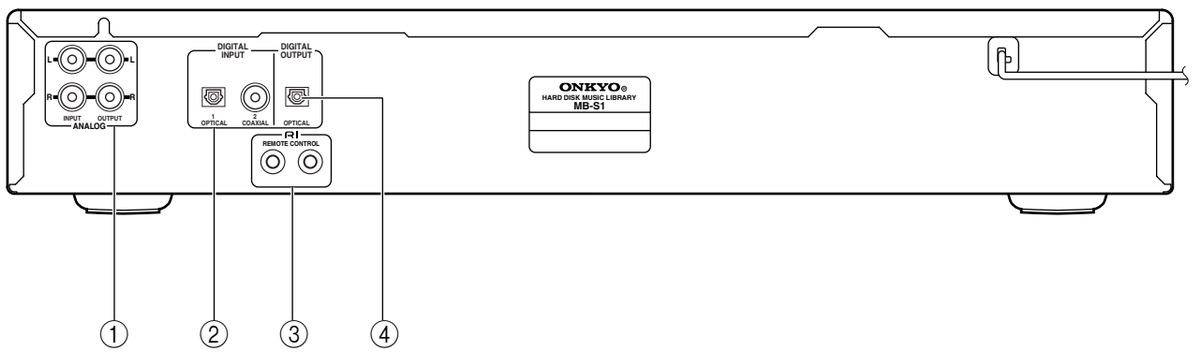
ON/OFFを切り換えて、好きな曲（お気に入り）だけを演奏できるようにします。

㉓ ジャンル演奏ボタン［41］

ジャンルを選択し、演奏します。

後面パネル

詳しい説明は、14、15 ページをご覧ください。



① アナログ入出力端子（ANALOG）

チューナー、カセットテープデッキを初めとするアナログ機器、およびＣＤプレーヤーその他のデジタル機器のアナログ出力に接続します。

② デジタル入力端子（DIGITAL INPUT）

CDプレーヤー、DVDプレーヤー、MDプレーヤー等のデジタル出力端子に接続します。光（OPTICAL）と同軸（COAXIAL）があります。

③ RI接続端子(RI REMOTE CONTROL)

同じRI端子を持つオンキヨー製品と接続します。

④ デジタル出力端子(DIGITAL OUTOPUT)

MDレコーダー、CDレコーダー、DATなどのデジタル録音機器の入力端子に接続します。
出力される信号は、CD-ROMドライブを用いて再生された音楽CDまたは、MP3を記録したCD-Rの音声のみで、HDD再生時は出力されません。（SCMS*に準拠）

ご注意

HDDの再生音声はデジタル出力されません。

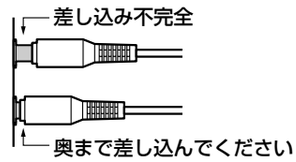
* SCMSは著作権保護を目的としたコピーガードシステムのことです。17ページをご覧ください。

接続する

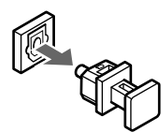
ここでは本機に接続できる機器の接続方法について説明します。ここでの説明は一例です。各コネクターや端子の特性、各機器の特長を十分理解し、最適な方法で接続してください。

- **接続する前に付属の説明書も必ずお読みください。**
- **電源コードは、他のすべての接続が終わるまで接続しないでください。**
- **入力端子は、赤いコネクター（Rの表示）を右チャンネル、白いコネクター（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。**
- **ビデオコードやオーディオ用ピンコード類は、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。**
- **ハードディスク（HDD）のデジタル出力は、アナログ出力はしませんので、必ずオーディオ用ピンコードの接続もしてください。**

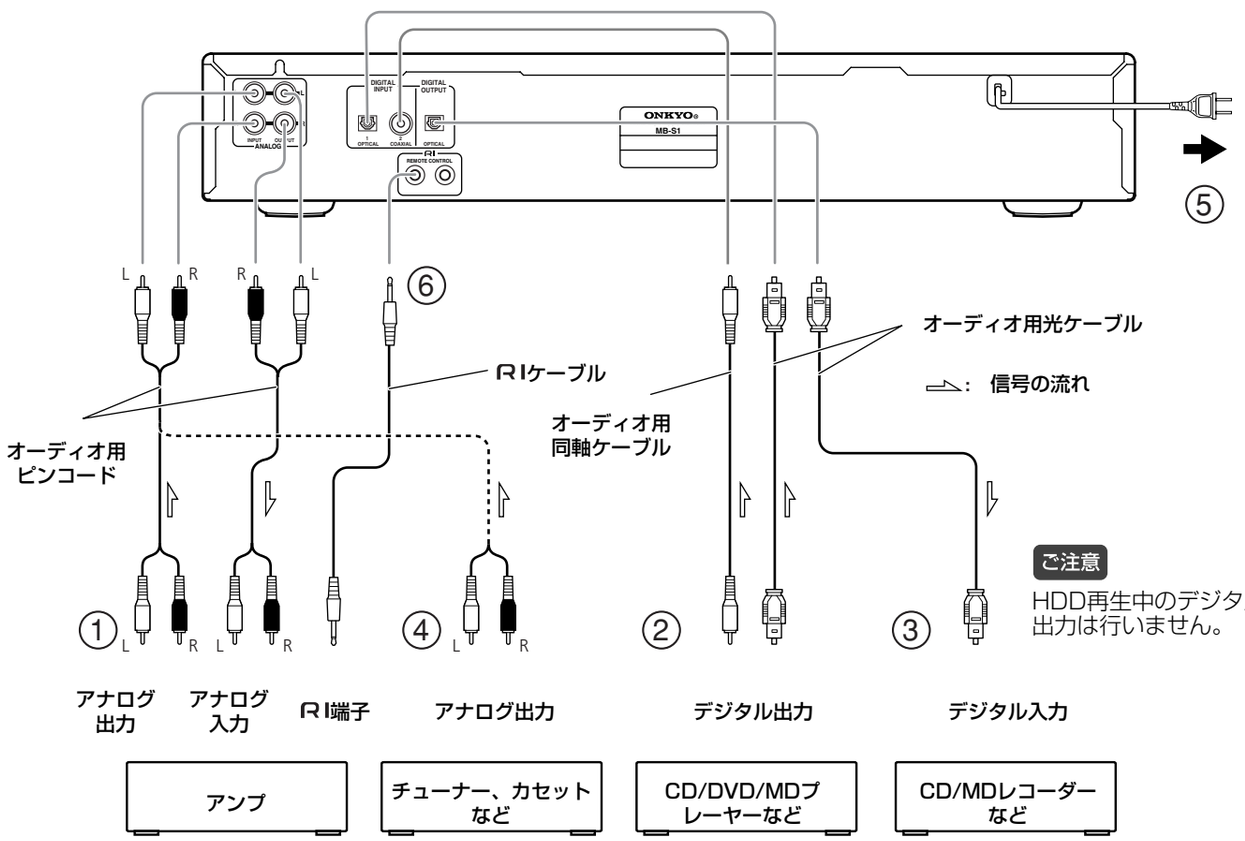
- **コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因となります。**

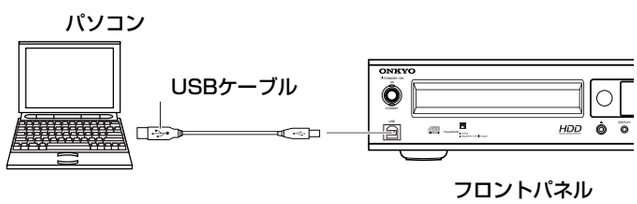


- **光デジタル端子を使用するときは、保護キャップを外してください。使用しない場合は、キャップを元どおりに取り付けてください。**
- **光デジタル入力端子を使用するときは、必ず光ケーブルを使用してください。**



光デジタル入力端子
光デジタル入力端子には、保護キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合は、キャップを元どおりに取り付けてください。





接続する

外部機器を接続する

ここでは外部機器の接続例を説明します。14ページの図を参考にして、接続してください。

1. アンプに接続する

本機のANALOG入出力端子を、アンプのTAPEまたはMDなどの入出力端子に接続してください。

お知らせ

オンキヨー製TX-L5と接続する場合は、背面のHD端子に接続してください。

2. CD/DVDプレーヤーを接続する

デジタル（OPTICAL/COAXIAL）出力端子付きのCD/DVDプレーヤーや、CSチューナー、DATなどを接続すると、本機でデジタル入力録音ができます。

CD/DVDプレーヤーなどのデジタル出力端子と、本機のDIGITAL INPUT（OPTICAL/COAXIAL）にオーディオ用光デジタルケーブル（COAXIALの場合は同軸ケーブル）をそれぞれ接続します。

接続するときは、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを必ずご使用ください。

3. MDレコーダー／CDレコーダーなどのデジタル音声録音機器を接続する

デジタル（OPTICAL）入力端子付きのCDレコーダーやMDレコーダー、DATなどを接続すると、接続機器でのデジタル入力録音ができます。

CDレコーダーやMDレコーダーなどのデジタル入力端子と、本機のDIGITAL OUTPUT（OPTICAL）にオーディオ用光デジタルケーブルをそれぞれ接続します。

接続するときは、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを必ずご使用ください。

ご注意

- デジタルコピーには制限があります。（17ページ）
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。
- DVDプレーヤーのデジタル音声出力を本機のDIGITAL INPUT端子に接続する場合は、DVDプレーヤー側でPCM出力に設定してください。

  ただしDVDプレーヤーによってはPCMに設定できない場合があります。そのときは接続しても音声出力されません。

4. チューナー、カセットテープデッキなどのアナログ機器を接続する

AM/FMチューナー、カセットテープデッキ、ビデオデッキなどの音声出力を直接本機に接続してHDDに録音することができます。

接続する機器の出力端子と、本機のANALOG INPUT端子を接続してください。

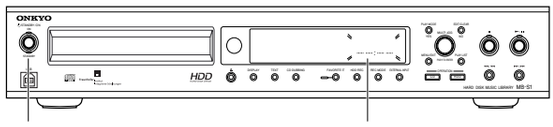
ご注意

- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

5. 電源コードを接続する

家庭用壁コンセントに電源コードを差し込んでください。

電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態になります。

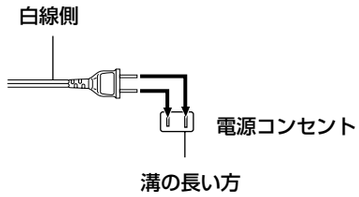


STANDBY表示が点灯　　時間表示が点滅

お知らせ

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。
電源コードの片側に白線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。電源コンセントに極性の区別がない場合はどちらを接続してもかまいません。



6. オンキヨー製レシーバーTX-L5と接続する

本機に付属のRIケーブルを使って、RI端子どうしを接続してください。RI端子の接続だけではシステムとして動作しません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

RI接続すると、次のシステム操作が可能です。

- 本気の電源をONにすると、TX-L5の電源が自動的に入り、入力切り換えが自動的にHDに変わります。
- TX-L5の電源を切ると、本機の電源が自動的に切れます。
- TX-L5の電源が入っているときに本機の再生を始めるとTX-L5の入力切り換えが自動的にHDに変わります。

RI端子は、RI端子付きオンキヨー製アンプと組み合わせた場合のみ使用できます。RI端子付きオンキヨー製品以外とは接続しないでください。故障の原因になります。

RI端子の左右2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。

CD・CD-R・内蔵HDDについて

CD・CD-Rについて

● 演奏上のご注意

CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に右のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。MP3音楽データの入っているCD-Rもご使用いただけます。

パソコン用のCD-Rで音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

● 取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

● レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

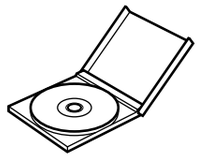
● お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

● 保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。



内蔵HDD（ハードディスクドライブ）について

● 取扱いについて

本機を揺らしたりHDD演奏中に持ち運んだりすると、内蔵HDDの破損・故障の原因となることがあります。

● 記録データについてのご注意

本機のハードディスク（HDD)に記録されたデータが失われた場合は、故障や障害の原因にかかわらず、データに関しての保証はいたしかねます。

また、修理でハードディスクドライブを交換、初期化した場合には、それまでに蓄積したデータが失われます。そのことで発生するお客様の損害や不利益は、弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音したデータが消えると困るような場合は、元になるCDやファイルを保管しておくよう、お願い致します。

結露について

本機を冷えたところから暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内側に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に動かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、結露が無くなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると、故障の原因となります。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

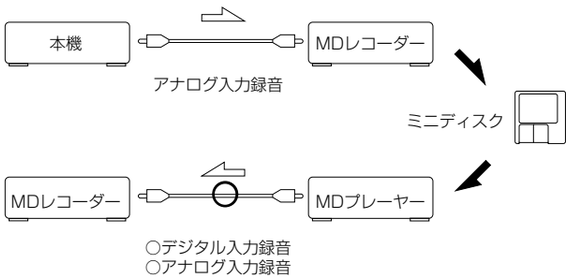
デジタル入力録音時のルールについて

本機のデジタルデータ処理はコピーガードシステムを搭載しています。
これらの制限事項は著作権の保護を目的としており、著作権を侵害するような動作を制限するために設けられています。

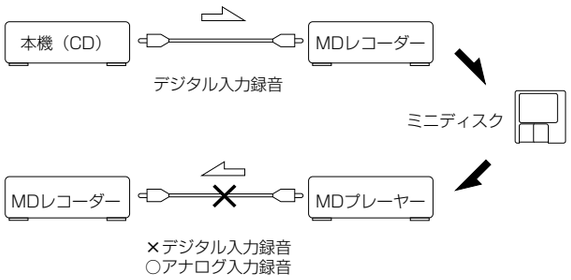
SCMS（Serial Copy Management System）について
このシステムは、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したものです。

本機のデジタル出力から登録する場合

1. 本機に記録されている音声データをいったんアナログ信号として録音したMDからデジタル信号としてMDレコーダーに録音することは可能です。



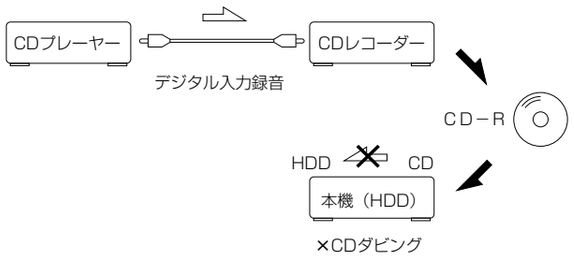
2. 本機CD部からデジタル信号のまま録音されたMDの音声データは、MDプレーヤーへデジタル信号のまま入力することはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。



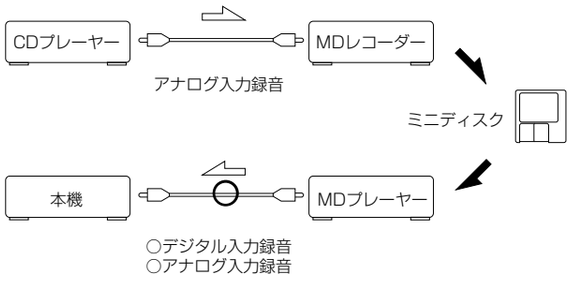
ご注意 著作権について
ラジオ放送番組、CD、レコード、音楽テープ、オリジナルカセットなどのメディアと音楽演奏は、音楽要素である歌詞とメロディが等しく著作権法によって保護されています。したがって、権利者の許諾なく上記の媒体を販売・譲渡・配布・リース、また店舗などでBGMとして流すことも禁止されています。

内蔵CDまたは外部機器のデジタル信号をHDDに録音する場合

1. CDからデジタル信号のまま録音されたCD-R/RWの音声データは、本機のCDからHDDへCDダビングすることはできません。入力する場合はアナログ信号として入力してください。



2. CDに記録されている音声データをいったんアナログ信号として録音したMDからデジタル信号として本機に入力することは可能です。



あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

共通の基本操作を理解する

本機は、通常のCDプレーヤーと同様に音楽CDの再生や、MP3ファイルを収録したCD-Rの再生も可能ですが、内蔵のHDDに録音することで長時間再生やプレイリスト再生などの多彩な音楽再生機能をご利用いただくことができます。

● 本機の音楽情報の取り扱いについて

本機では音楽情報を、グループとトラック（曲）単位で管理しています。

グループ、トラック番号については、本機の表示部に“GROUP”が点灯しているときに表示されます。

CDプレーヤー部では、グループ、トラック番号による曲の選択・表示のみとなりますが、HDD部ではグループ、トラック番号に加え、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、日付、お気に入りマークを登録できます。アルバム名などを追加登録することにより、曲の並べ替え、お気に入り曲のみの再生、アルバム名・アーティスト名・ジャンル・日付で曲の表示・選択が可能になります。

● 本機のご利用方法

1. **本機のCDプレーヤー部で、音楽CDを再生する**

   本ページ「CDプレーヤー部の再生機能について」、および22、23ページ「音楽CD、CD-R聞く」をご覧ください。

2. **本機のCDプレーヤー部で、MP3ファイルを収録したCD-Rを再生する**

   本ページ「CDプレーヤー部の再生機能について」、および22、23ページ「音楽CD、CD-R聞く」をご覧ください。

3. **本機のCDプレーヤーから、内蔵HDDに録音して再生する**

   本ページ「内蔵HDD部の再生機能について」、および24～29ページ「録音する」、「HDDを聞く」をご覧ください。

4. **MDプレーヤーなどの外部機器から、本機のHDDに録音して再生する**

   本ページ「内蔵HDD部の再生機能について」、および14、15ページ「接続する」、24～29ページ「録音する」「HDDを聞く」をご覧ください。

5. **パソコンのMP3ファイルを、本機のHDDに転送して再生する**

   本ページ「内蔵HDD部の再生機能について」、および28、29ページ「HDDを聞く」、47ページ「Carry Tunesについて」をご覧ください。

6. **本機のHDDで、プレイリストを再生する**

   本ページ「内蔵HDD部の再生機能について」、「プレイリストについて」、28、29ページ「HDDを聞く」、および34～40ページのプレイリストの操作をご覧ください。

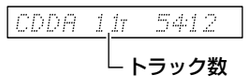
● CDプレーヤー部の再生機能について

CDプレーヤー部では、音楽CDまたはCD-R（PCM音源またはMP3ファイル）を再生できます。

曲はグループとトラック番号で選択・再生します。グループはジョグダイヤル、トラック番号は⏮/◀◀/▶▶/⏭で選択できます。

- **音楽CDの場合**

  1枚のCD＝1グループ、曲数＝トラック数



- **MP3ファイルのCD-Rの場合**

  CD-R内のフォルダ数＝グループ数、それぞれのフォルダの中のファイル数＝トラック数

ルートフォルダの場合は、グループがブランクで表示されます。

※ CDプレーヤー部では、曲の並べ替え機能、ランダム再生機能はご利用いただけません。これらの機能をご利用いただく場合、HDDに録音して再生していただく必要があります。

● 内蔵HDD部の再生機能について

HDD部では、本機のCDプレーヤー、MDプレーヤーなどの外部機器からの録音、またはパソコンからMP3ファイルを転送して再生ができます。

曲はCDプレーヤー部と同様、グループとトラック番号で選択・再生できますが、HDD再生の場合はさらに、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、日付、お気に入りに情報により選択することもできます。

プレイリストを作成すると、HDDに録音されている曲の中から、お好みの演奏リストを作成して再生することができます。

※アルバム名、アーティスト名、ジャンル名、日付、お気に入りについて設定されていない場合は、ALBUM、ARTIST、GENRE、DATEによる並べ替え機能、お気に入り曲の再生機能はご利用できません。グループ・トラック番号による表示、再生順になります。

※プレイリストの作成・編集は、グループ、トラック番号による曲選択となります。プレイリストについては、次項「プレイリストについて」をお読みください。

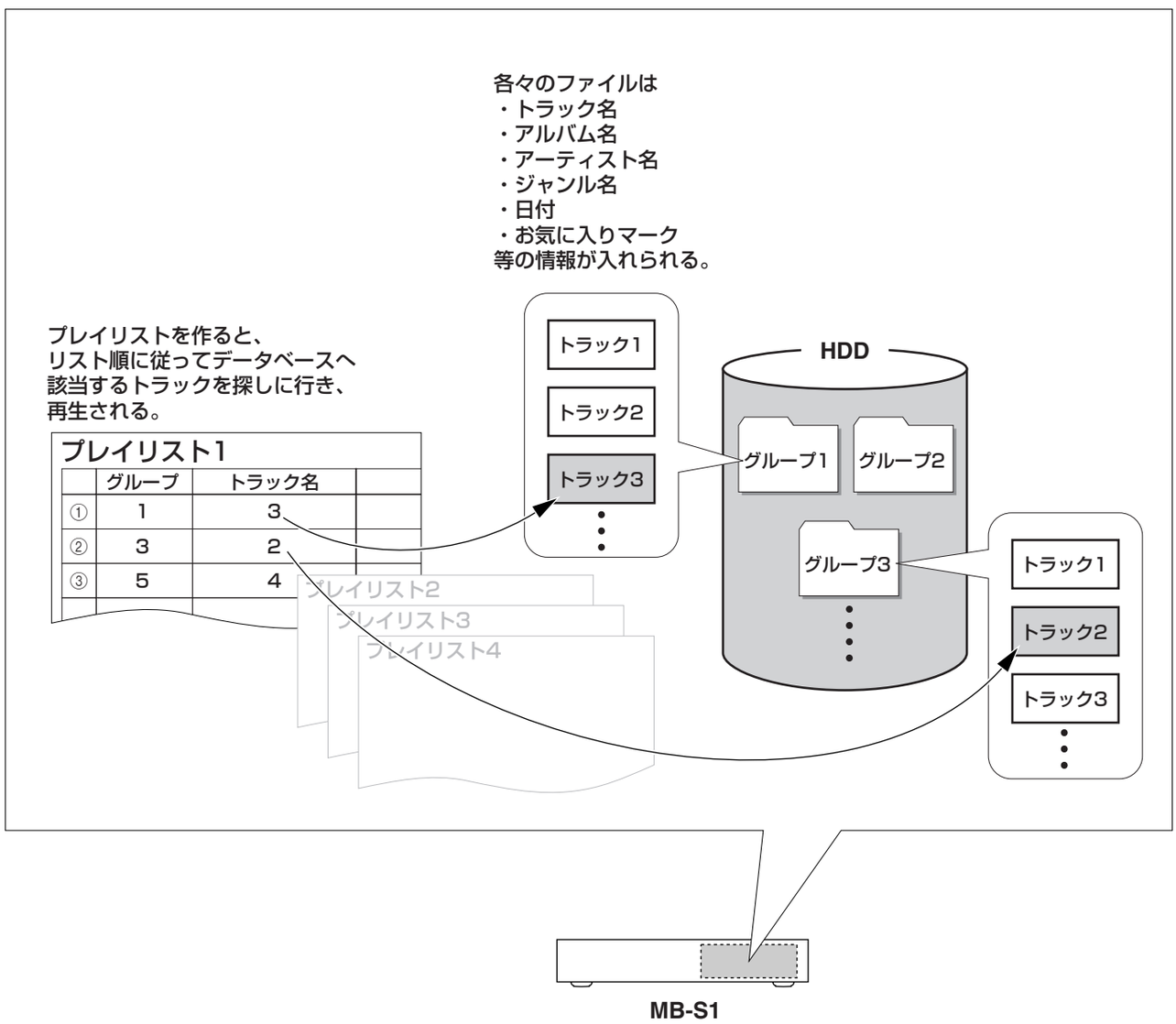
● プレイリストについて

本機のHDDに録音した曲の中からお好みの曲を選択し、演奏リストを作成できます。プレイリストに名前をつけて簡単に演奏リストを切り換えることができます。

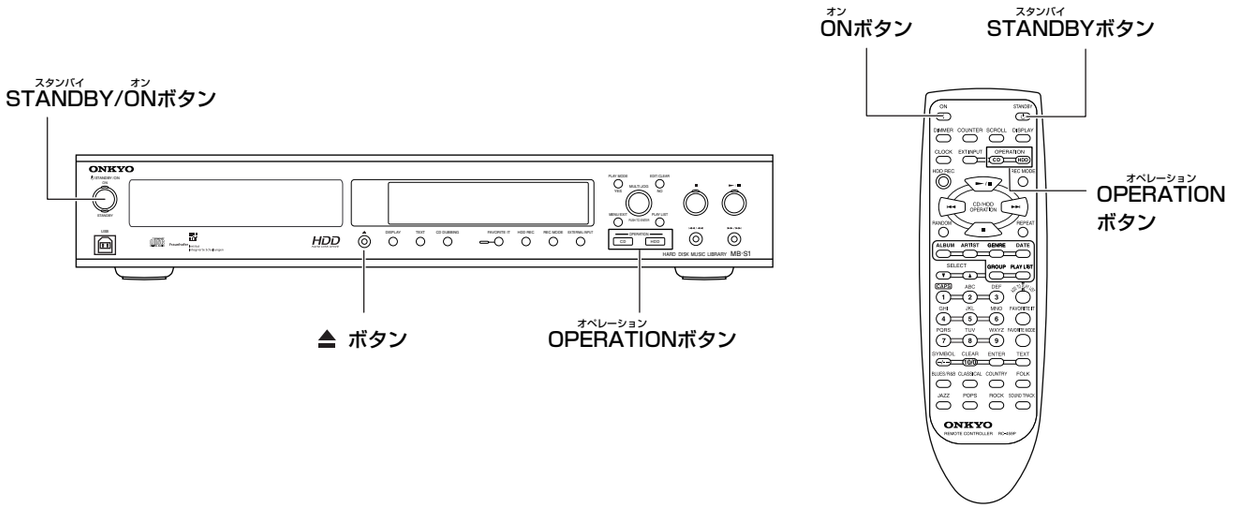
プレイリスト機能で保存される演奏曲情報はHDDに保存されているグループ、トラック番号の参照情報になりますので、プレイリストを編集、削除しても、HDDに録音されている曲情報が変更や削除されることはありません。プレイリストに登録されている曲に、アルバム名などの追加情報が登録されている場合は、曲の選択時や、演奏時にアルバム名などの情報が表示されます。

プレイリストの作成・操作については、34～40ページを参照してください。

※作成できるプレイリストは100リストとなります。

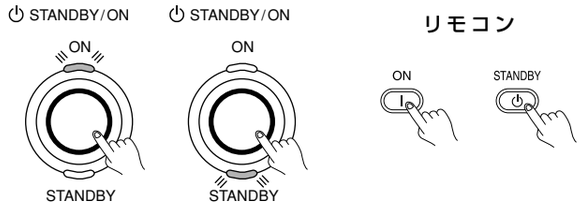


共通の基本操作を理解する



電源を入れる

本体のSTANDBY/ONボタンを押します。スタンバイ状態にするには同じボタンをもう一度押します。リモコンの場合は、ONボタンで電源オンに、STANDBYボタンでスタンバイ状態になります。



スタンバイ状態：表示部に時刻（時刻を設定していない場合は「－－：－－」）が表示されている状態です。（次ページ参照）

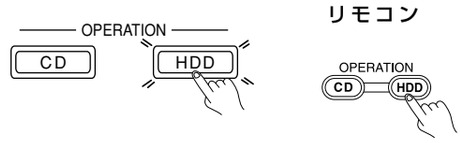
電源オン状態：スタンバイ状態のときに、本機のSTANDBY/ONボタンまたはリモコンのONボタンを押して電源を入れた状態です。通常の操作ができます。ボタンを押すと、表示部に“HDD MUSIC LIBRARY”とスクロールし、HDDの総グループ数と総トラック数を表示したあと、前に電源を切ったときのモードの表示が点灯します。CDモードの場合は、表示部に“Reading Media”と表示され、CDの読み込みが始まります。CDの内容を読み終わると、グループ、トラック数、総時間を表示します。HDDモードの場合は、前に電源を切ったときのグループの表示になります。

CD／HDDを切り換える

本機は、音楽CD、CD-ROMと、HDD（ハードディスクドライブ）に保存した音楽ファイルを再生することができます。再生するソースを切り換えるには、オペレーションをCDまたはHDDに切り換えます

CDボタンを押すと、オペレーションがCDに切り換わります。CD、■、►/❚❚インジケーターがオレンジ色に点灯します。本体またはリモコンで、音楽CDやCD-ROMを操作できます。

HDDボタンを押すと、オペレーションがHDDに切り換わります。HDD、■、►/❚❚インジケーターが緑色に点灯します。本体またはリモコンで、ハードディスクに保存してある音楽ファイルの操作ができます。



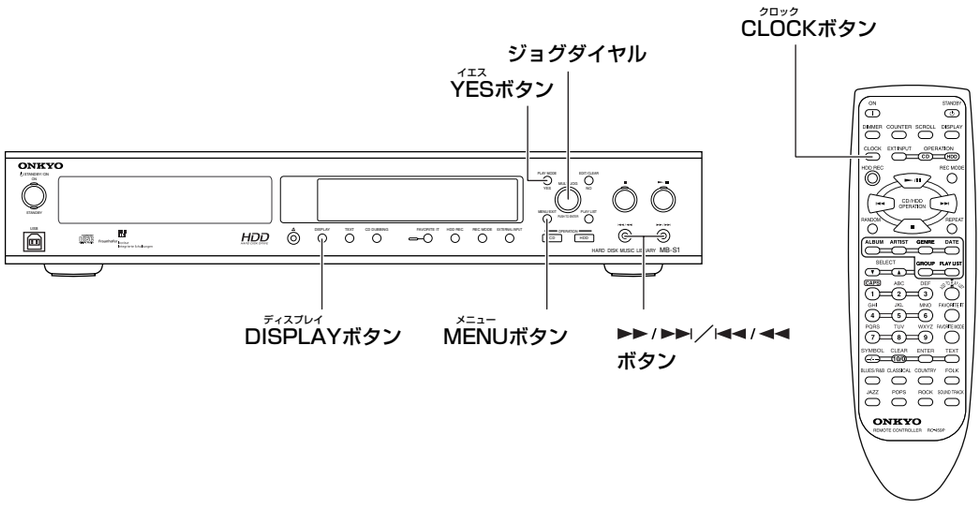
CDトレイを開く

本体の ▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、CDトレイを開いてください。

ご注意

電源をONにした直後の数秒間は、ディスク検出をしていますので、ボタンを押しても動作しません。表示部に、読み込んだ内容が表示されてから操作してください。

日付と現在時刻を設定する

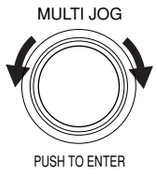


日付と現在時刻を設定する

1. メニューモードを呼び出す

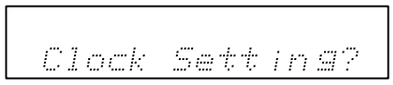
MENU/EXITボタンを押すと、表示部にメニュー項目が表示されます。

2. 日付設定メニューを選択する



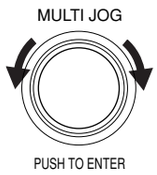
ジョグダイヤルを回して、日付設定メニュー（Clock Setting?）を選択します。

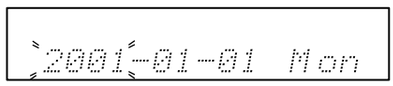
メニューは、Clock　Setting?→Timer Setting?→AnaRecSetting?の順に表示されます。



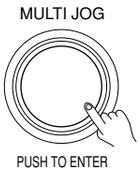
ジョグダイヤルを押します。

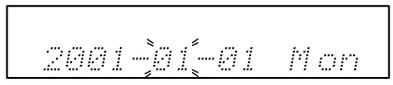
3. 日時を設定する





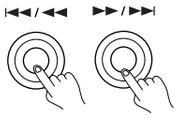
ジョグダイヤルを回して、西暦を合わせます。





ジョグダイヤルを押して、変更した西暦を確定し、月の設定に移動します。

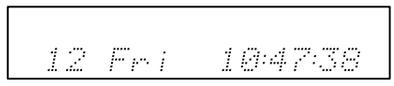
月→日→時→分の順で、同様の操作で設定します。
曜日は自動的に設定されます。



I◄◄/◄◄/►►/►►I ボタンで任意の項目（西暦、月、日、曜日、時、分）に移動し、設定することもできます。

4. 確定する

YESボタンを押すと秒が表示され、時計がスタートします。

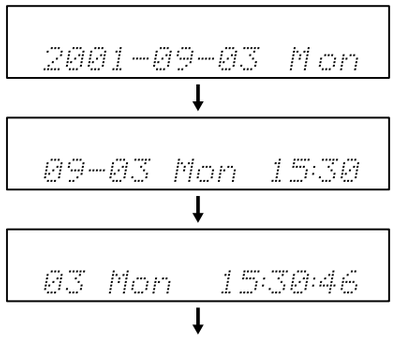


5. 表示を元に戻す

MENU/EXITボタンまたは■（ストップ）ボタンを押します。

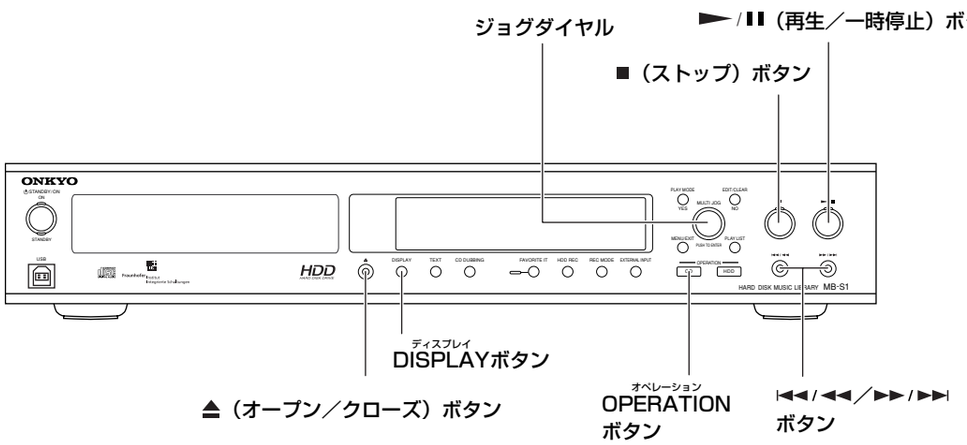
日付、時刻を確かめる（リモコンのみ）

リモコンのCLOCKボタンを押します。押すたびに下図のように表示が切り換わります。



元の表示に戻る

音楽CD、CD-Rを聞く



音楽CD、CD-Rを聞く

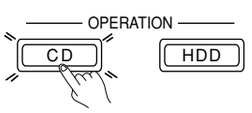
1. CDをセットする

▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、トレイを開き、レーベル面を上にしてCDを置きます。

シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、トレイを閉じます。

2. オペレーションをCDにする



CDボタンを押します。

3. 再生を始める

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと表示部に CD ► が点灯し、再生が始まります。

CDを最後まで再生すると自動的に停止します。

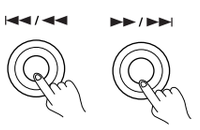
再生中に押すと、表示部に CD ►❚❚ と点灯し、一時停止します。もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を停止する

■（ストップ）ボタンを押します。►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと、停止したときのトラックの頭から演奏を始めます。

■（ストップ）ボタンを2回続けて押すと、CDの1トラック目を表示して停止します。

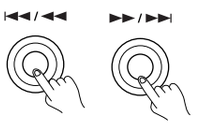
聞きたい曲を選ぶ



再生中、一時停止中に I◄◄/◄◄ ボタンを1回押すと聞いているトラックの頭に戻り、2回押すと、前のトラックに戻ります。以降押すたびに1つ前のトラックになります。

►►/►►I ボタンを押すと、押すたびに1つ次のトラックになります。

早戻し／早送りをする



再生中にI◄◄/◄◄、►►/►►Iボタンを0.5秒以上押し続けると、8倍速の早戻し、または早送りになります。さらに押し続けると16、32、64倍速で早戻し、早送りになります。

聞きたいところで指をはなすと通常再生になります。早戻しの場合はそのトラックの頭まで戻ると、そのトラックの通常再生になり、早送りの場合は、次のトラックの頭から通常再生になります。

＊ **早戻し／早送り中は、音は聞こえません。**

くり返し演奏する（リモコンのみ）

リモコンのREPEATボタンを押すと、現在のリピート設定を表示します。ボタンを押すたびにRepeat All→Repeat 1→Repeat Offと切り換わります。

リモコン

Repeat All（リピート オール）：CDに入っているトラックすべてをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT 表示が点灯します。MP3 CDの場合は、運ばれているフォルダのグループ内のトラックをくり返し演奏します。

Repeat 1（リピート）：現在選んでいるトラックだけをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT 1表示が点灯します。

Repeat Off（リピート オフ）：リピート演奏を解除するときはOFFにします。

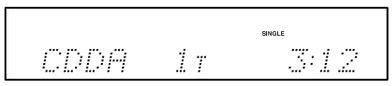
音楽CD、CD-Rを聞く

表示部の情報を切り換える

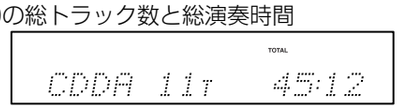
リモコンのCOUNTERボタンを押すたびに切り換わります。

停止中

CDの最初のトラックの演奏時間

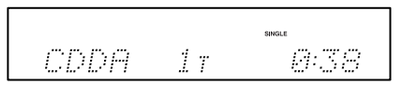


CDの総トラック数と総演奏時間

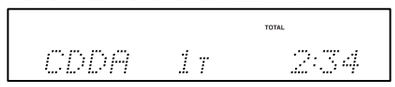


一時停止中、再生中

選択しているトラックの経過時間



選択しているトラックの残量時間



ディスク名が長いときは

テキストデータの入っているCDの場合、リモコンのSCROLL（スクロール）ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

リモコンで操作する

表示部の明るさを切り換える*

表示部の情報を切り換える

時計表示に切り換える

長いディスク名をスクロール表示する

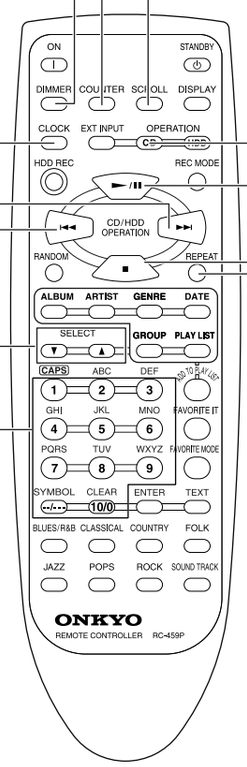
聞きたいトラックを選ぶ

再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いているトラックの頭に戻り、2回押すと、前のトラックに戻ります。以降押すたびに1つ前のトラックになります。
⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次のトラックになります。

CDを選ぶ

再生する／一時停止する

押すと再生が始まります。再生中に押すと、一時停止します。



CD-ROMのときに、グループを選ぶ

再生を止める

数字ボタンで選曲して再生する

くり返し演奏する（22ページ参照）

--/--- は入力する位の指定、10/0 は10もしくは0を表します。

例）トラック番号　押すボタン

8	8
10	10/0
34	--/---、3、4

* **表示部の明るさを切り換える**

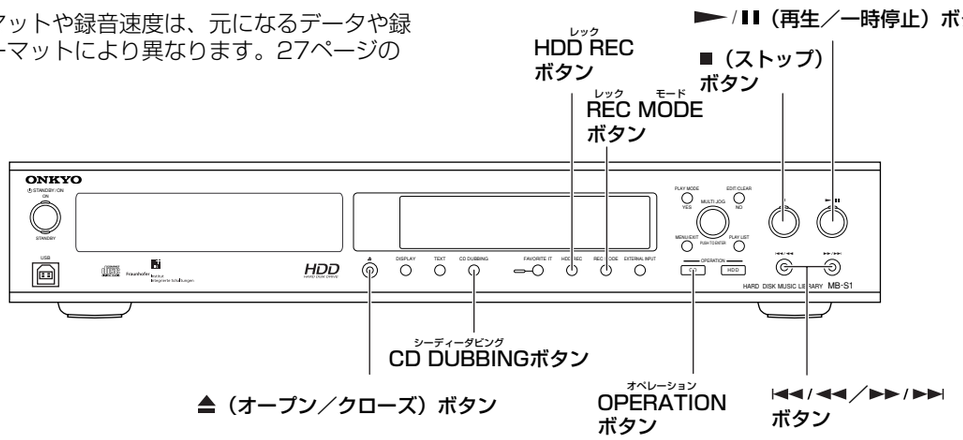
押すたびに以下のように明るさが変わります。

- 表示部がやや暗くなる→
- 表示部が暗くなる→
- 表示部が暗くなった状態でさらにフロントパネルのON以外のインジケーターが消える→
- 表示部が明るくなり、消灯していたインジケーターも点灯する

録音する

お知らせ

録音できるフォーマットや録音速度は、元になるデータや録音するときのフォーマットにより異なります。27ページの表をご覧ください。

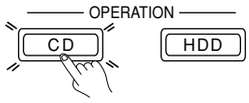


音楽CD／CD-Rをシンクロ録音する

1. CDをセットする

CDのセットのしかたは22ページをご覧ください。

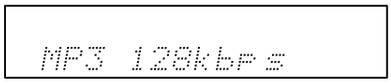
2. オペレーションをCDにする



CDボタンを押します。

3. 録音モードを選ぶ

REC MODE



REC（レック） MODE（モード）ボタンを押して、録音モードを切り換えます。押すたびに、録音モードが変化します。

PCM：CDの内容をそのままの音質で録音します。MP3録音より良い音質を得られますが、容量は大きくなります。

MP3 96kbps：128kbpsの時の約3/4のファイルサイズになるのでより多くのデータを録音できます。

MP3 128kbps：PCMの約1/10のファイルサイズになります。

MP3 192kbps：128kbpsのときの約1.5倍のファイルサイズになるため、収録時間は短くなりますが、良い音質が得られます。

4. 録音待機状態にする

HDD REC

HDD RECボタンを押すと、表示部が

になり、CDシンクロ録音待ち状態になります。

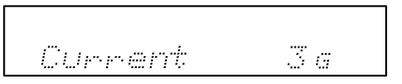
5. 録音先を選ぶ

HDD REC

もう一度HDD RECボタンを押して録音先を選びます。Current ↔ Newと交互に切り換わります。

Current：すでに録音先データがある場合に、現在のグループの続きに録音します。

New：新しいグループの1トラック目から録音します。



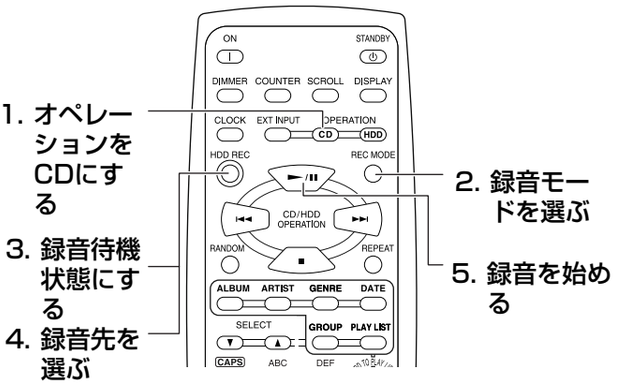
6. 録音を始める

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと自動的に録音が始まります。

CDを最後まで再生すると自動的に停止します。

リモコンで操作する

番号順に操作してください。



録音する

CDからすべてのトラックをダビングする

1. CDをセットする

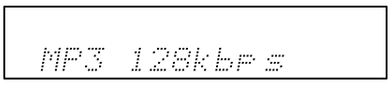
CDのセットのしかたは22ページをご覧ください。

2. CD、HDDを停止する

3. 録音モードを選ぶ

（前ページの手順3「録音モードを選ぶ」参照）

REC MODE

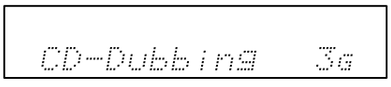


REC MODEボタンを押して、録音モードを切り換えます。押すたびに、録音モードが変化します。

4. CD ダビングを始める

CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを押すと、HDDに自動的にグループを作成し、CDを丸ごとダビングします。



ヒント

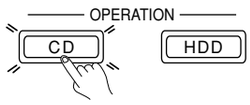
シンクロ録音やダビングを途中で止めたいときは、■（ストップ）ボタンを押してください。

CDから1トラックのみダビングする

1. CDをセットする

CDのセットのしかたは22ページをご覧ください。

2. オペレーションをCDにする

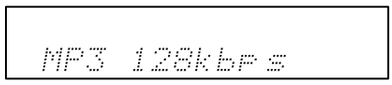


CDボタンを押します。

3. 録音モードを選ぶ

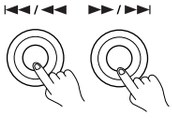
（前ページの手順3「録音モードを選ぶ」参照）

REC MODE



REC MODEボタンを押して、録音モードを切り換えます。押すたびに、録音モードが変化します。

4. CDで録音するトラックを選ぶ



録音するトラックを選びます。

5. 録音待機状態にする

HDD REC

HDD RECボタンを押すと、表示部が

になり、CDシンクロ録音待ち状態になります。

6. 録音先を選ぶ

HDD REC

もう一度HDD RECボタンを押して録音先を選びます。Current ↔ Newと交互に切り換わります。

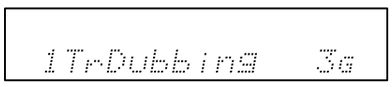
Current：すでに録音先データがある場合に、現在のグループの続きに録音します。

New：新しいグループの1トラック目から録音します。

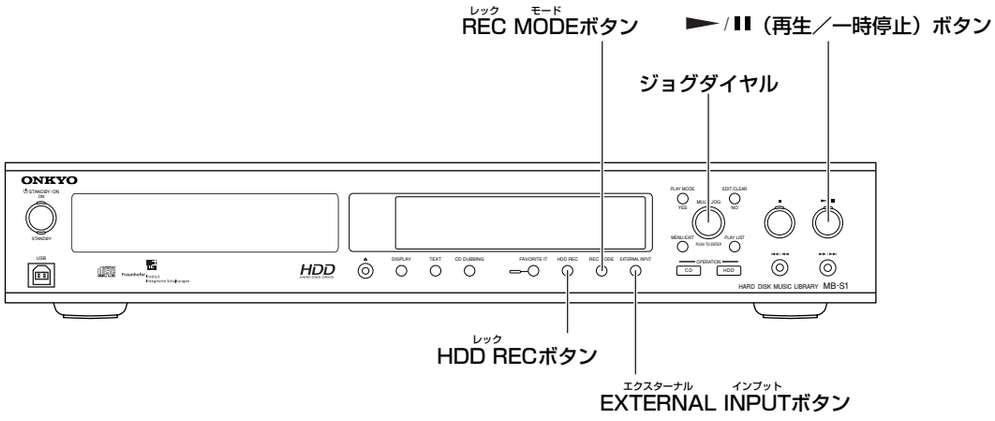
7. CD ダビングを始める

CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを押すと、自動的に現在のCDトラックの先頭に戻り、録音を開始します。



録音する



外部機器の音声をHDDに録音する

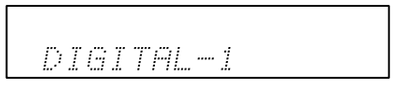
1. 外部機器の接続を確認する

「接続する」（14、15ページ）をご確認ください。

2. 入力ソースを選択する

EXTERNAL INPUT

EXTERNAL INPUTボタンを繰り返し押します。



DIGITAL-1：DIGITAL INPUTの1 OPTICAL端子からの入力の場合

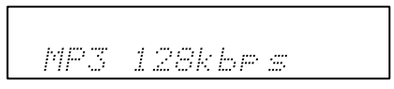
DIGITAL-2：DIGITAL INPUTの2 COAXIAL端子からの入力の場合

ANALOG：ANALOG端子からの入力の場合（レコード盤など、出力レベルの大きなソースから録音するときは、27ページの「録音レベルを設定する」を行ってください。）

3. 録音モードを選ぶ

（24ページの手順3「録音モードを選ぶ」参照）

REC MODE



REC MODEボタンを押して、録音モードを切り換えます。押すたびに、録音モードが変化します。

詳しくは、27ページの表をご確認ください。

4. 録音待機状態にする

HDD REC

HDD RECボタンを押すと、表示部が HDD ❚❚ ●REC MP3 になり、CDシンクロ録音待ち状態になります。

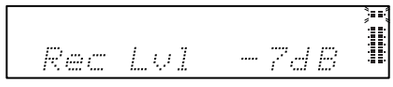
レベル調整

5. レベルを調整する（アナログ入力のみ）

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

ジョグダイヤルを回してソース機器を再生しながら録音レベルを調整します。



レベルメーターの赤いセグメントが時々点灯するくらいが最適レベルです。

ヒント

トラック番号は、録音レベルが下がったところで自動的に更新されます。この更新するときのレベルを自分で設定することができます。⏮/◀◀/▶▶/⏭ボタンを押すと、まず“TR Marking”と表示され、続けてボタンを押すと、1～9の範囲でレベルを選ぶことができます。

6. 録音先を選ぶ

HDD REC

もう一度HDD RECボタンを押して録音先を選びます。Current↔Newと交互に切り換わります。

Current：すでに録音先データがある場合に、現在のグループの続きに録音します。

New：新しいグループの1トラック目から録音します。

7. 録音を始める

►/❚❚

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと同時に外部機器の再生を始めます。

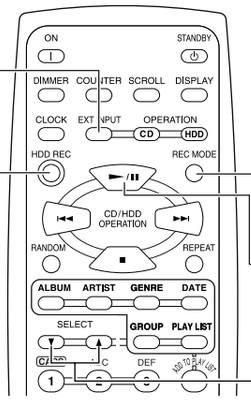
お知らせ

- **最大録音時間について**
  1グループの最大録音時間は約6時間です。時間表示は最大で、99時間59分59秒までとなります。99時間59分59秒を越える場合は、”--:--:--”と表示されます。
- 入力信号を待っている状態のときは、“Signal Wait”が表示されます。

録音する

リモコンで操作する

番号順に操作してください。



1. 入力ソースを選択する
2. 録音モードを選ぶ
3. 録音待機状態にする
4. レベルを調整する
5. 録音先を選ぶ
6. 録音を始める

録音対応表

入力する機器や音源になるデータにより、録音できるフォーマットや録音速度が下表のように変わります。

本機にCDを入れてHDD録音した場合

操作 / 入力ソース	録音モード（REC MODE）	QUICK表示	レベル調整（REC LEVEL）
音楽用CD	PCM	クイック録音※2（約5倍速）	—
	MP3 96/128/192 kbps	等倍速	—
MP3 CD※1（MP3変換してからCD-Rに書きこんだCDなどのこと）	MP3 （元のデータと同じ）	クイック録音※2（約50倍速）	—

※1　複製CD、MP3 CDの取り扱いは個人的利用に限られます。また、オーディオ用CD-Rレコーダーでダビングしたｃｄ-R/RWはSCMSの規定により本機では録音できません。

※2　クイック録音のときは、音は聞こえません。

外部入力からHDD録音した場合

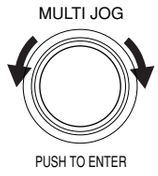
操作 / 入力ソース	録音モード（REC MODE）	QUICK表示	レベル調整（REC LEVEL）
DIGITAL-1 DIGITAL-2	PCM MP3 96/128/192 kbps	等倍速	—
ANALOG			○（アナログのみ）

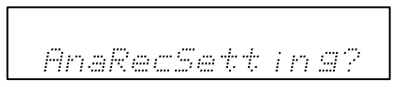
録音レベルを設定する（アナログ入力のみ）

1. メニューモードを呼び出す

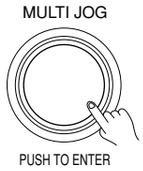
MENUボタンを押すと、表示部にメニュー項目が表示されます。

2. 録音レベル設定メニューを選択する



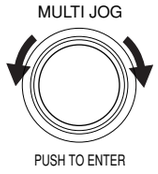


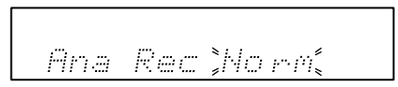
ジョグダイヤルを回して“AnaRecSetting？”を選択し、ジョグダイヤルを押して確定します。



“Norm”または“Low”がゆっくり点滅します。

3. レベルを設定する

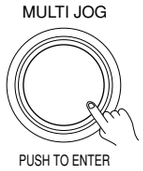




ジョグダイヤルを回して“Norm”または“Low”のいずれかのレベルを選択します。

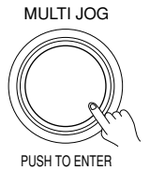
Norm（ノーマル）：CDやDVD、MDなどのデジタル機器のアナログ出力を録音するときに選びます。

Low（ロー）：レコード盤など、出力レベルの大きなソースから録音するときに選びます。Normより12dB減衰させています。



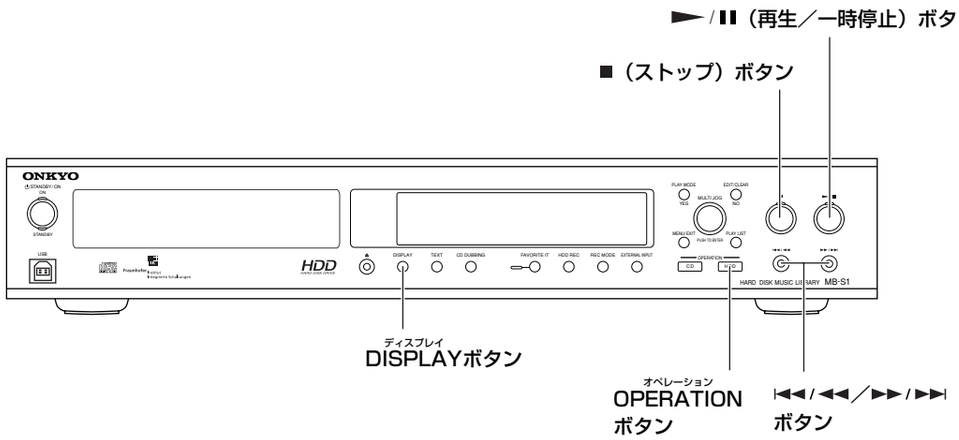
選択したら、ジョグダイヤルを押して確定します。

4. 確定する



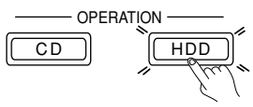
ジョグダイヤルを押して、録音レベルの設定を確定します。

HDDを聞く



HDDを聞く

1. オペレーションをHDDにする



HDDボタンを押します。

2. 再生を始める

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと表示部に HDD ► が点灯し、前回選んでいたグループとトラックから再生が始まります。グループを変えたいときは、ジョグダイヤルを回して選んでください。

最後のグループの最終トラックを再生すると自動的に停止します。

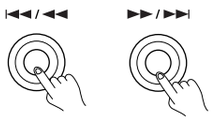
再生中に押すと、表示部に HDD ►❚❚ が点灯し、一時停止します。もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を停止する

■（ストップ）ボタンを押します。►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと、停止したときのトラックの頭から演奏を始めます。

■（ストップ）ボタンを2回続けて押すと、現在のグループの1トラック目を表示して停止します。

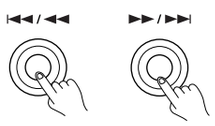
聞きたいトラックを選ぶ



再生中、一時停止中に I◄◄/◄◄ ボタンを1回押すと聞いているトラックの頭に戻り、2回押すと、前のトラックに戻ります。以降押すたびに1つ前のトラックになります。

►►/►►I ボタンを押すと、押すたびに1つ次のトラックになります。

早戻し／早送りをする



再生中にI◄◄/◄◄、►►/►►Iボタンを0.5秒以上押し続けると、8倍速の早戻し、または早送りになります。さらに押し続けると16、32、64倍速で早戻し、早送りになります。

＊ **早戻し・早送り中は、音は聞こえません。**

聞きたいところで指をはなすと通常再生になります。早戻しの場合はそのトラックの頭まで戻ると、そのトラックの通常再生になり、早送りの場合は、次のトラックの頭から通常再生になります。

グループ内のトラックを順不同に演奏する

リモコンのみ

リモコンのRANDOMボタンを押すと、現在のランダム設定を表示します。ボタンを押すたびにRandom On↔Random Offが切り換わります。

Random On：現在選んでいるグループ内のトラックを順不同に演奏します。設定すると、RANDOM表示が点灯します。

Random Off：ランダム演奏を解除するときはOFFにします。

くり返し演奏する

リモコンのみ

リモコンのREPEATボタンを押すと、現在のリピート設定を表示します。ボタンを押すたびにRepeat All→Repeat 1→Repeat Offと切り換わります。

Repeat All（リピート）：現在選んでいるグループ内のトラックをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT表示が点灯します。

Repeat 1（リピート）：現在選んでいるトラックだけをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT 1表示が点灯します。

Repeat Off（リピート　オフ）：リピート演奏を解除するときはOFFにします。

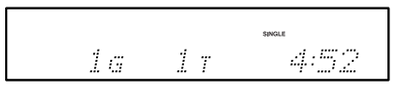
HDDを聞く

表示部の情報を切り換える

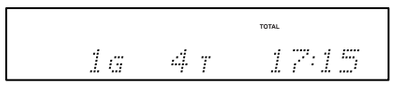
リモコンのCOUNTERボタンを押すたびに切り換わります。DISPLAYボタンでTEXT表示を選んでいるときは、表示できません。

停止中

グループの最初のトラックの演奏時間

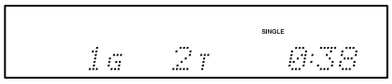


グループの総トラック数および総演奏時間

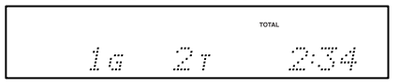


一時停止中、再生中

選択しているトラックの経過時間



選択しているトラックの残量時間



ディスク名が長いときは

リモコンのSCROLL（スクロール）ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

リモコンで操作する

時計表示に切り換える

表示部の明るさを切り換える*

表示部の情報を切り換える

長いディスク名をスクロール表示する

聞きたいトラックを選ぶ

再生中、一時停止中に ⏮ ボタンを1回押すと聞いているトラックの頭に戻り、2回押すと、前のトラックに戻ります。以降押すたびに1つ前のトラックになります。
⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次のトラックになります。

順不同に演奏する

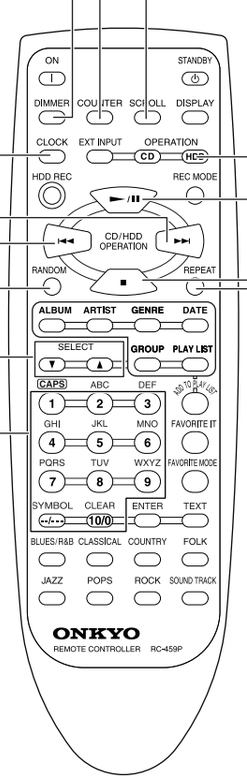
グループを選ぶ

数字ボタンで選曲して再生する

--/--- は入力する位の指定、10/0 は10もしくは0を表します。

例）トラック番号　押すボタン

8	8
10	10/0
34	--/---、3、4



HDDを選ぶ

再生する／一時停止する

押すと再生が始まります。再生中に押すと、一時停止します。

再生を止める

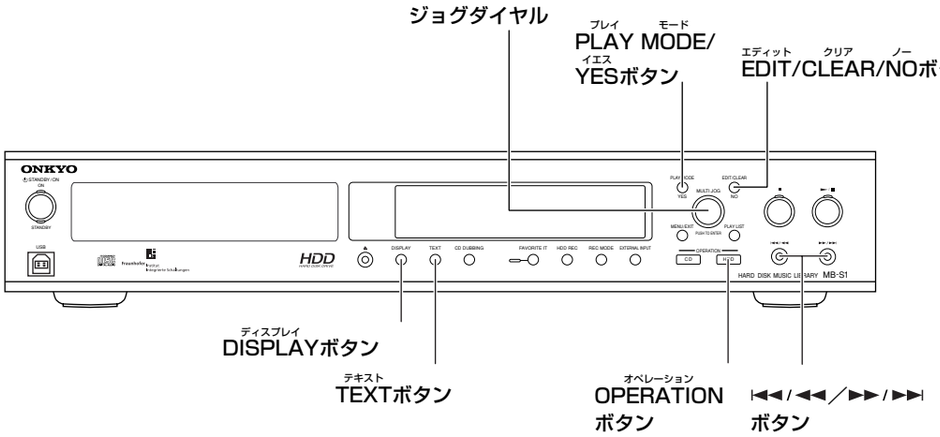
くり返し演奏する
（28ページを参照）

* **表示部の明るさを切り換える**

押すたびに以下のように明るさが変わります。

- 表示部がやや暗くなる→
- 表示部が暗くなる→
- 表示部が暗くなった状態でさらにフロントパネルのON以外のインジケーターが消える→
- 表示部が明るくなり、消灯していたインジケーターも点灯する

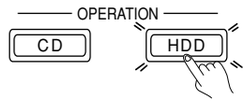
HDDに録音したトラック（曲）に名前をつける



トラック（曲）名の入力

HDDに録音したトラックには、タイトル（曲）名、アルバム名、ジャンルなどを入力することができます。再生を停止してから入力してください。
入力した曲名などは、プレイリストの作成・編集で利用できます。

1. オペレーションをHDDにする



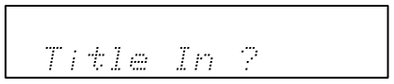
HDDボタンを押します。

2. 編集するトラック（曲）を選ぶ

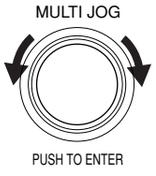
トラックの選び方については、28ページ「聞きたいトラックを選ぶ」をご覧ください。

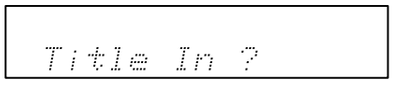
3. 文字、編集モードを呼び出す

TEXTボタンを押すと、表示部に何の文字を編集するのかが表示されます。

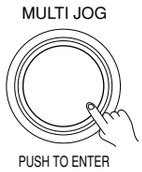


4. 編集したいモードを選ぶ





ジョグダイヤルを回すと、Album In?、Artist In?、Genre In?、Date In?、Title In?と編集モードが変わります。



編集したいモードのところでジョグダイヤルを押します。

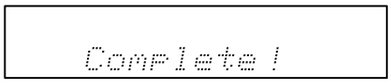
5. 文字を入力する

編集モードがTitle In?、Album In?、Artist In?のときは、下項の「文字の入力」をご覧ください。
編集モードがGenre In?のときは、次のページの「ジャンルを選ぶ」をご覧ください。

6. 入力を確定して編集モードを終了する

YESボタンまたはTEXTボタンを押すと、入力した内容が確定します。

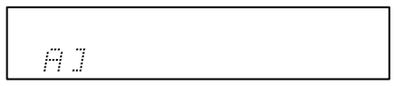
確定したら、表示部に“Complete!”（完了）と表示されます。



文字の入力

編集モードがTitle In?、Album In?、Artist In?のときは、以下の文字編集を行うことができます。

1. 入力する文字の種類を指定するとき



DISPLAYボタンをくり返し押すと、入力する文字の種類を変更できます。

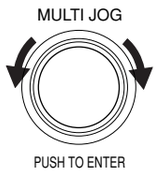
表示部	入力できる文字の種類
A]	アルファベットの大文字 A-Z
a]	アルファベットの小文字 a-z
1]	数字 0-9、記号
↑]	一度入力したことのあるテキストを選ぶとき
空白	アルファベットの大文字、小文字、数字、記号のすべてを表示したいとき

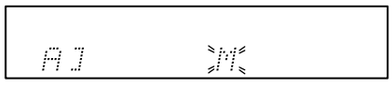
ヒント

スペースを入れたいときは、記号の中から ▶◀ を選んでください。

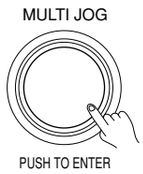
HDDに録音した曲に名前をつける

2.文字を選ぶ



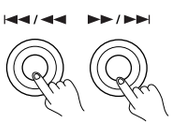


ジョグダイヤルを回すと、現在選択されている文字種類の文字が順に表示されます。



ジョグダイヤルを押すと、入力が確定し、次の文字へ移動します。

3.文字を移動する

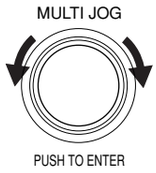


|◄◄/◄◄ ボタンを押すと前の文字を編集できます。►►/►►| ボタンを押すと、次の文字を編集できます。

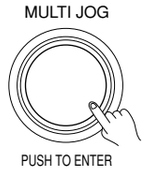
4.文字を削除する

EDIT/CLEARボタンを押すと、現在選択中の文字を削除します。

ジャンルを選ぶ



編集モードがGenre In?のとき、ジョグダイヤルを回すと、以下のGENRE名の選択（24種）を設定できます。



ジョグダイヤルを押すと、入力が確定します。

(Undefined)、Alternative、Blues/R&B、Books & Spoken、Children's Music、Classical、Country、Dance、Data、Easy Listening、Electronic、Folk、Hip Hop/Rap、Holiday、House、Industrial、Jazz、New Age、Pop、Religious、Rock、Soundtrack、Trance、World、Other

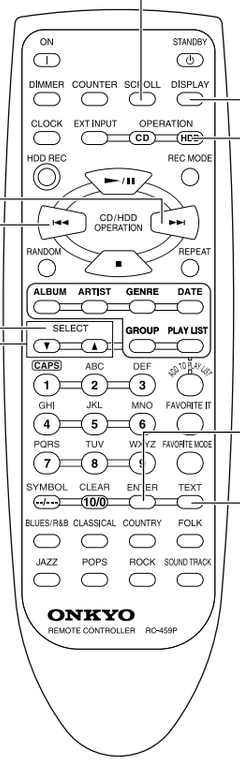
リモコンで操作する

番号順に操作してください。

2. 編集する曲（トラック）を選ぶ
SELECT▲/▼ボタンでグループを選んでから|◄◄/►►| ボタンでトラックを選びます。

4. 編集したいモードを選ぶ
＊“Genre In?”を選んだときは、手順6、7のかわりに、SELECT▲/▼ボタンでジャンルを選び、ENTERボタンを押します。

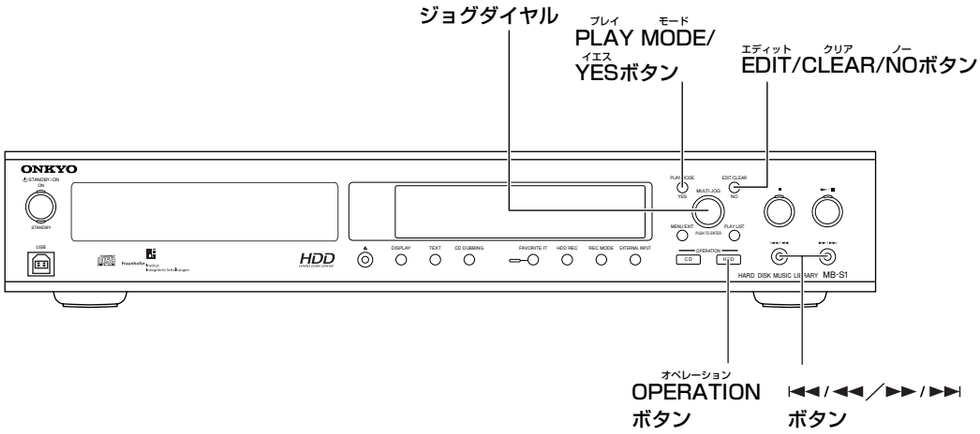
7. 文字を入力する
①：DISPLAYボタンで数字モードを選んでから1を選びます。他のモードでは何も選べません。
ABC ② ～ WXYZ ⑨：DIPLAYボタンで数字モードを選んだときは、各数字を選ぶことができます。DISPLAYボタンで小文字モード、大文字モードを選んだときは、ボタンの上に書いてあるアルファベットを選ぶことができます。
SYMBOL：DISPLAYボタンで選んでいるモードに関わらず記号を選びます。
CLEAR ⑩/0：DIPLAYボタンで数字モードを選んでから0を選びます。他のモードでは削除ボタンとして働きます。
ENTER：選んだ文字を確定します。



トラック名をスクロール表示する
6. 文字の種類を選ぶ
1. HDDを選ぶ
5. 編集したいモードを確定する
3. 文字編集モードを呼び出す
8. 文字編集モードを終了する

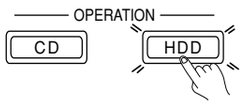
＊文字、数字ボタンは、 DISPLAYボタンで何もモードが選ばれていないときは、入力できるすべての文字が押すたびに切り換わります。
例）ABC ②の場合：A→B→C→a→b→c→2

HDDに録音したトラックの消去



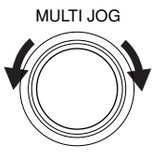
1曲（トラック）を削除する

1.オペレーションをHDDにする



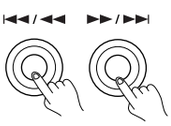
HDDボタンを押します。

2.トラックを選ぶ



ジョグダイヤルを回して、グループを選択します。

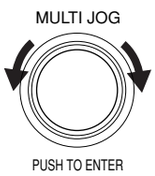
/◀◀/▶▶/▶▶|ボタンで、曲（トラック）を選択します。



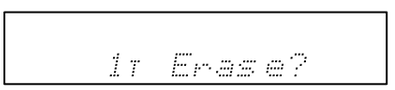
3.編集／消去モードを呼び出す

EDIT/CLEARボタンを押します。

4.1トラック削除モードを選ぶ

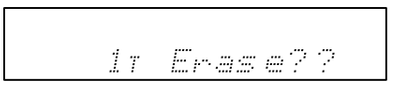


ジョグダイヤルで、“1T Erase?”を選びます。



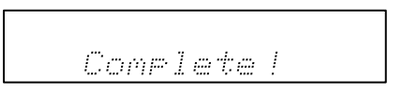
5.ジョグダイヤルを押す

確認の表示が出ます。



6.確定する

YESボタンを押したら、表示部に“Erasing...”（消去）と表示されたのち“Complete!”（完了）と表示されます。



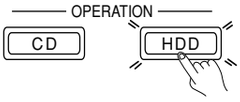
お知らせ

操作を途中で止めたいときは、MENU/EXITボタンを押すか、■（ストップ）ボタンを押してください。

HDDに録音したトラック消去

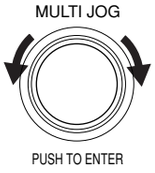
グループごと削除する

1.オペレーションをHDDにする



HDDボタンを押します。

2.削除するグループを選ぶ

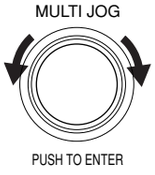


ジョグダイヤルを回して削除するグループを選びます。

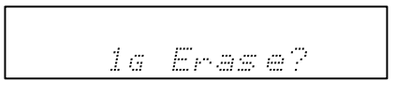
3.編集／消去モードを呼び出す

EDIT/CLEARボタンを押します。

4.グループ削除モードを選ぶ



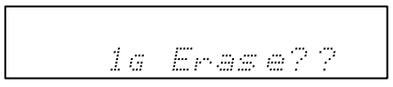
ジョグダイヤルで、“1G Erase?”を選びます 。



ジョグダイヤルを押すと、グループ削除モードになります。

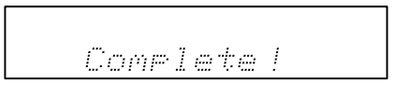
5.ジョグダイヤルを押す

確認の表示が出ます。

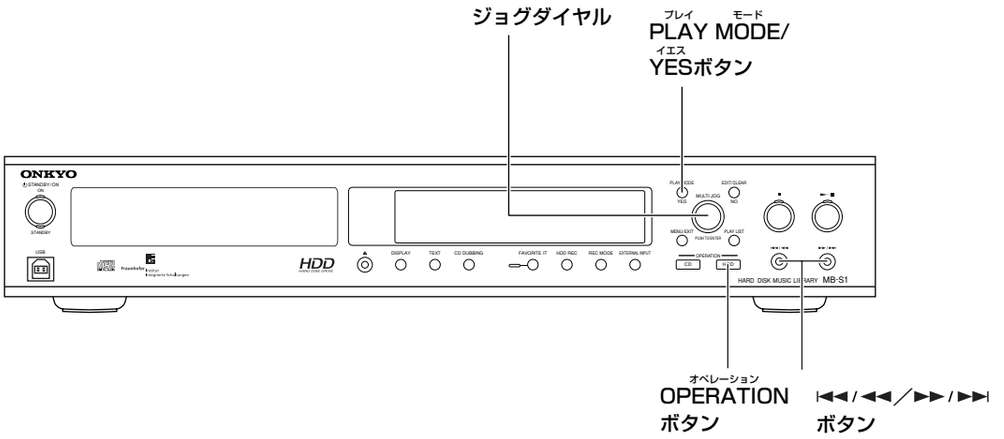


6.確定する

YESボタンを押したら、表示部に“Erasing...（イレージング）”（消去）と表示されたのち“Complete!（コンプリート）”（完了）と表示されます。



プレイリストを作る

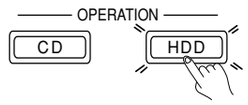


プレイリストを作る

HDDに録音したCDや音楽データからお好みの曲を集めて、プレイリストを作ることができます。

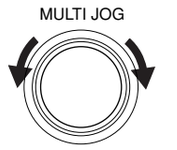
最大で100組のプレイリストを作ることができます。1つのプレイリストには100までのトラックを登録できます。

1.オペレーションをHDDにする

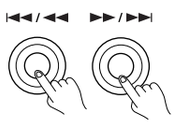


HDDボタンを押します。

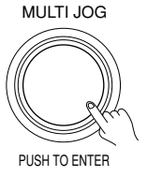
2.トラック（曲）を選ぶ



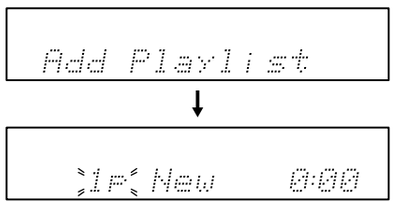
ジョグダイヤルを回して、グループを選択し、⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンで、曲（トラック）を選択します。



3.ジョグダイヤルを押して、プレイリスト作成モードにする

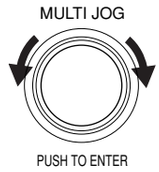


“Add PlayList”と一秒間表示されたのち、プレイリスト番号を選ぶ表示に変わります。

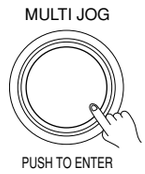


初めてプレイリストを作る場合は「1p」が点滅しています。
2回目以降は、前に選んでいたプレイリスト番号が点滅します。

4.プレイリストを選ぶ

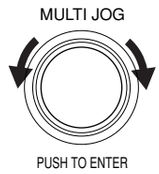


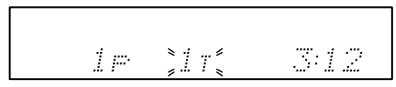
点滅しているプレイリスト番号でOKなら、そのままジョグダイヤルを押してください。変えたい場合は、ジョグダイヤルを回して、追加するプレイリストを選びます。選んだら、ジョグダイヤルを押して確定します。



プレイリスト番号の右側に“New”と出ている場合は、そのプレイリストにはまだ何も入っていません。また、“3P5T”などと表示されている場合は、これからプレイリストに加えようとしているトラックが、3番目のプレイリストの5番目のトラックに入ることを示しています。

5.トラックの順番を選ぶ

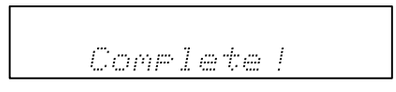




点滅しているトラック番号でOKなら、そのままジョグダイヤルを押してください。変えたい場合は、ジョグダイヤルを回して、追加するトラック順を選びます。

6.入力を確定する

YESボタンまたはジョグダイヤルを押すと入力が確定して、表示部に“Complete!”と表示されます。



お知らせ

操作を途中で止めたいときは、MENU/EXITボタンを押すか、■（ストップ）ボタンを押してください。

プレイリストを作る

● プレイリスト作成時の表示について

プレイリストを作成するとき

はじめてプレイリストを作成するときは、“1P New”と表示されます。

“1P”は、1番目のプレイリスト、“New”は、このプレイリストにまだトラック（曲）が登録されていないことを示します。

プレイリストを追加作成するときは、“2P New”のように表示されます。

“2P”は、新しいプレイリスト番号、“New”は、このプレイリストにまだトラック（曲）が登録されていないことを示します。

※ プレイリストを削除した場合、そのプレイリスト番号は空きの状態になります。（番号の振りなおしはおこなわれません。）次にプレイリストを作成するときは、その空のプレイリスト番号が新しいプレイリスト番号として選ばれます。

（たとえば、1～10番までのプレイリストを作成していて、3番目のプレイリストを削除した場合、次にプレイリストを作成するときには、“3P New”となります。）

プレイリストに曲を追加するとき

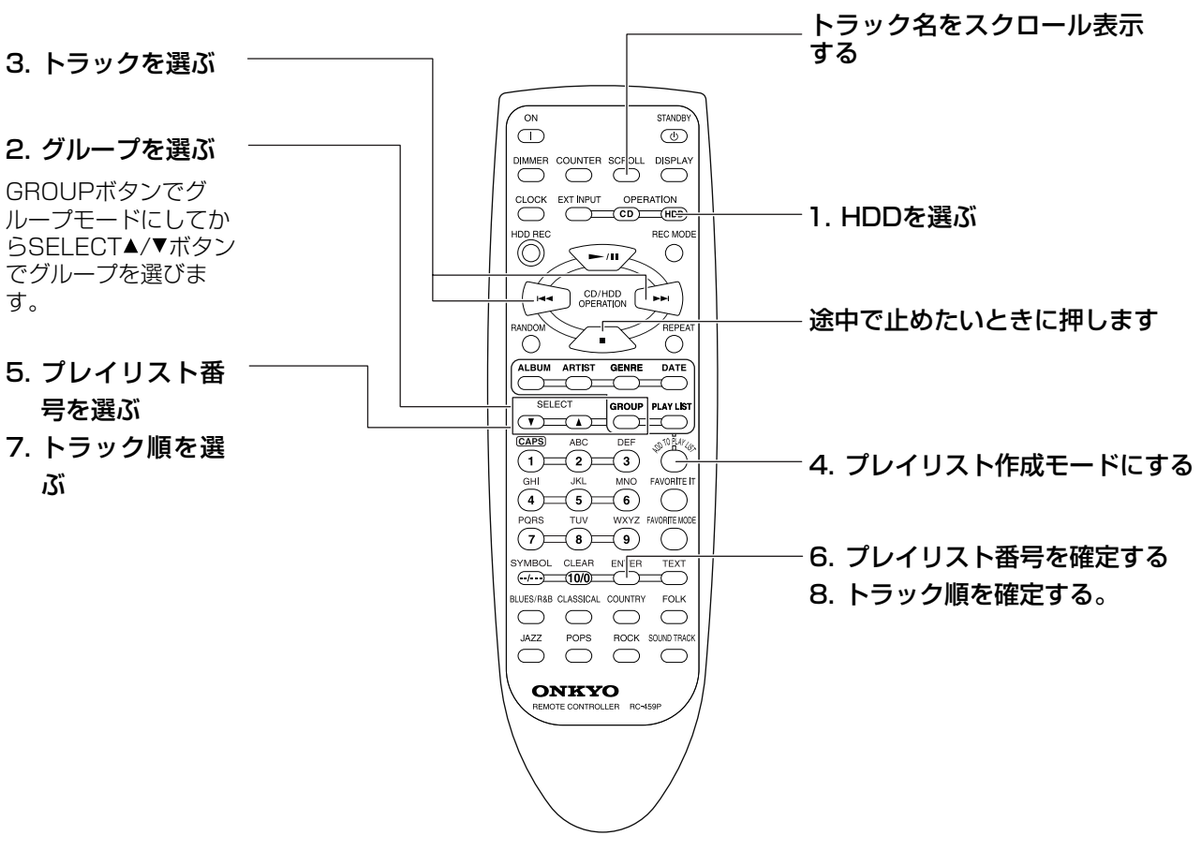
すでに作成してあるプレイリスト（たとえば、1番目のプレイリストで5トラック登録）に、あたらしいトラック（曲）を追加するときは、“1P 6T”のように表示されます。

“1P”は、1番目のプレイリスト、“6T”はプレイリストの中の新しいトラック番号です。プレイリスト内で演奏順を変えたい場合は、このトラック番号を変更します。

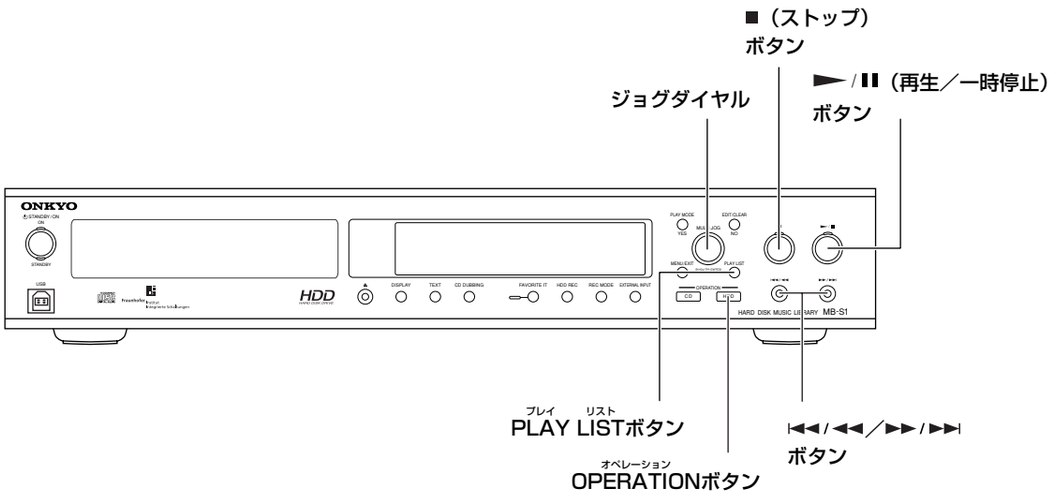
※ プレイリスト内のトラックを削除した場合、次のトラックが削除された番号に繰り上がります。（トラック番号の振り直しがおこなわれます。）たとえば、1番目のプレイリストで1～10トラックに曲が登録されている場合、3番目のトラックを削除すると4番目以降のトラックが1つずつ繰り上がります。プレイリストのトラック数は9トラックとなります。

リモコンで操作する

番号順に操作してください。

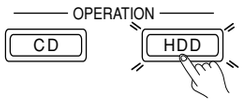


プレイリストを聞く



プレイリストを聞く

1. オペレーションをHDDにする

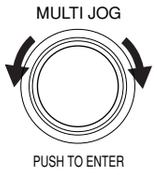


HDDボタンを押します。

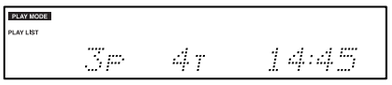
2. プレイリストモードにする

PLAY LISTボタンを押します。

3. プレイリストを選ぶ



ジョグダイヤルを回してプレイリストを選びます。



4. 再生する

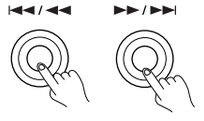
►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと、プレイリストの1トラック目から演奏が始まります。

再生を停止する

■（ストップ）ボタンを押します。►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押すと、停止したときのトラックの頭から演奏を始めます。

■（ストップ）ボタンを2回続けて押すと、現在のグループの1トラック目を表示して停止します。

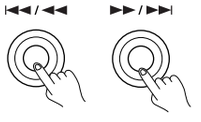
聞きたいトラックを選ぶ



再生中、一時停止中に I◄◄/◄◄ ボタンを1回押すと聞いているトラックの頭に戻り、2回押すと、前のトラックに戻ります。以降押すたびに1つ前のトラックになります。

►►/►►I ボタンを押すと、押すたびに1つ次のトラックになります。

早戻し／早送りをする



再生中にI◄◄/◄◄、►►/►►Iボタンを0.5秒以上押し続けると、8倍速の早戻し、または早送りになります。さらに押し続けると16、32、64倍速で早戻し、早送りになります。

聞きたいところで指をはなすと通常再生になります。早戻しの場合はそのトラックの頭まで戻ると、そのトラックの通常再生になり、早送りの場合は、次のトラックの頭から通常再生になります。

プレイリストを聞く

プレイリスト内のトラックを順不同に演奏する

リモコンのみ

リモコンのRANDOMボタンを押すと、現在のランダム設定を表示します。ボタンを押すたびにRandom On ↔ Random Offが切り換わります。

Random On：現在選んでいるプレイリスト内のトラックを順不同に演奏します。設定すると、RANDOM表示が点灯します。

Random Off：ランダム演奏を解除するときはOFFにします。

選んだプレイリストをくり返し演奏する

リモコンのみ

リモコンのREPEATボタンを押すと、現在のリピート設定を表示します。ボタンを押すたびにRepeat All→Repeat 1→Repeat Offと切り換わります。

Repeat All：現在選んでいるプレイリスト内のトラックをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT表示が点灯します。

Repeat 1：現在選んでいるトラックだけをくり返し演奏します。設定すると、REPEAT 1表示が点灯します。

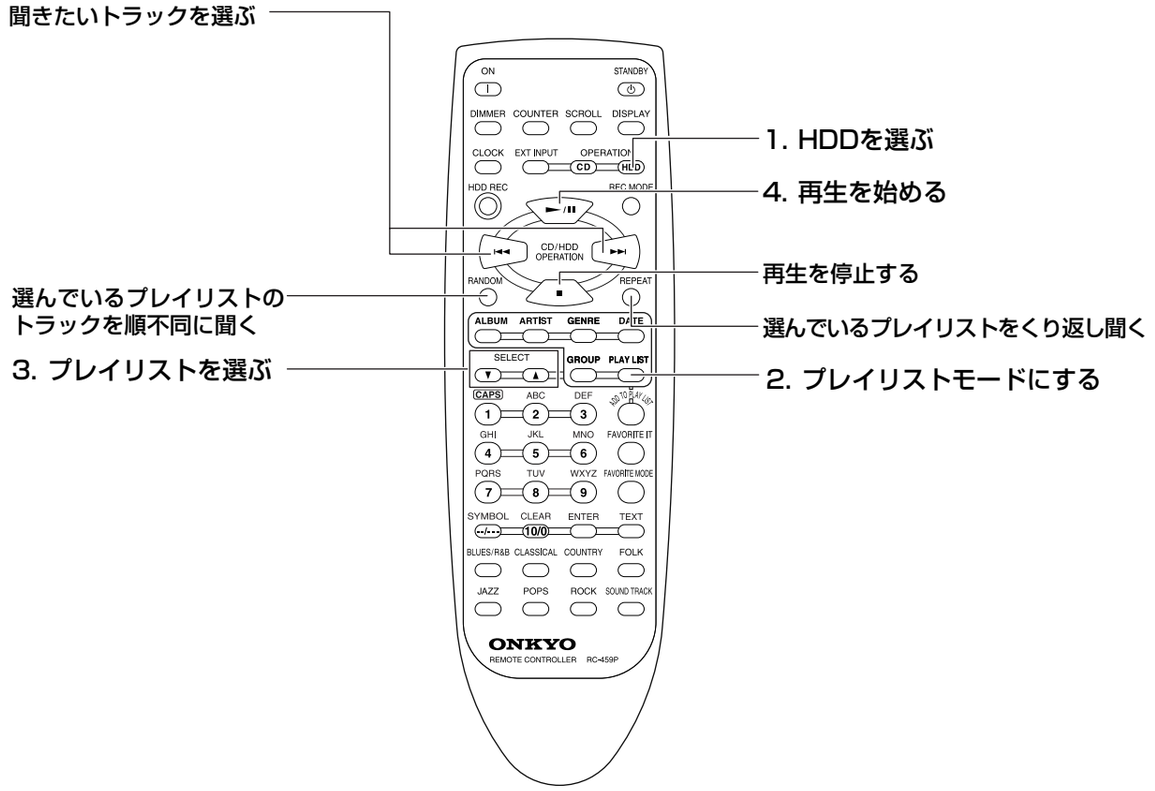
Repeat Off：リピート演奏を解除するときはOFFにします。

プレイリスト演奏をやめる

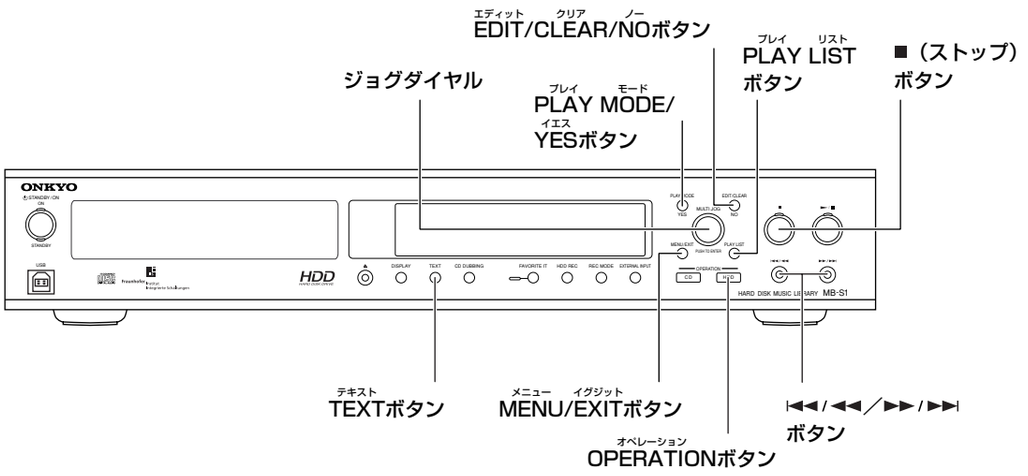
PLAY MODEボタンを押すと“Group？”表示になるので、ジョグダイヤルを押します。“Sorting”表示が出たあと、グループ順に演奏するモードになります。41～43ページもあわせてご覧ください。

リモコンで操作する

番号順に操作してください。



プレイリストを編集する



プレイリストに名前をつける

1. プレイリストモードにする

PLAY LIST

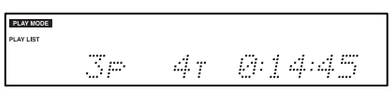
PLAY LISTボタンを押します。

2.プレイリストを選ぶ

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

ジョグダイヤルを回してプレイリスト番号を選びます。



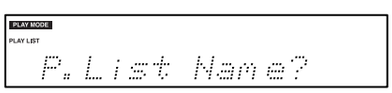
3. 文字編集モードにする

TEXT

TEXTボタンを押すと表示部に“P.List Name?”と表示され、ジョグダイヤルを押すと、プレイリスト名入力モードになります。

MULTI JOG

PUSH TO ENTER



4. 文字を入力する

文字入力の手順は、30、31をご覧ください。
途中で入力を止める場合は、MENU/EXITボタンを押します。

5. 入力を確定する

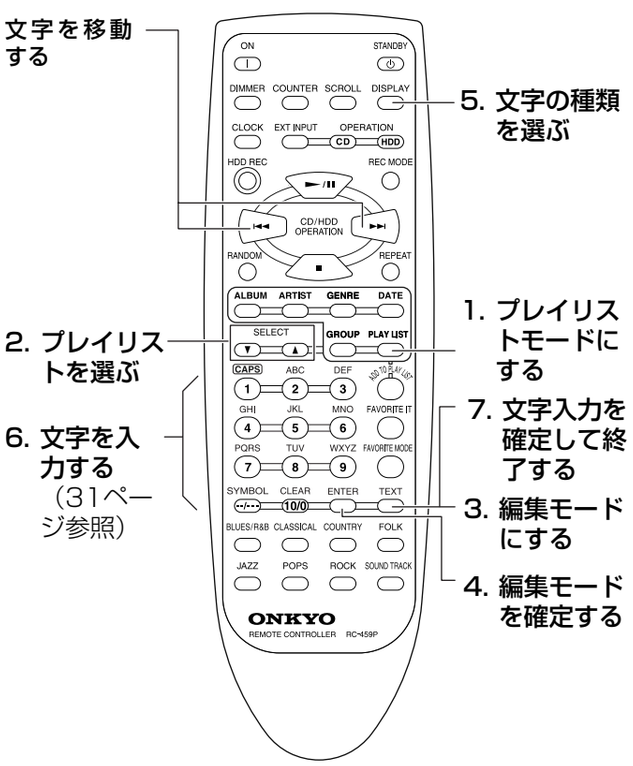
PLAY MODE

YES

YESボタンを押すと入力が確定して、表示部に“Complete!”と表示されます。

リモコンで操作する

番号順に操作してください。



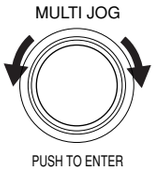
プレイリストを編集する

プレイリスト内でトラックを移動する

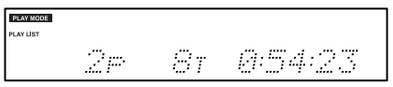
1. プレイリストモードにする

PLAY LISTボタンを押します。

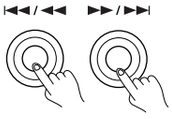
2. プレイリストを選ぶ

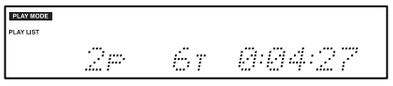


ジョグダイヤルを回して移動させたいプレイリスト番号を選びます。

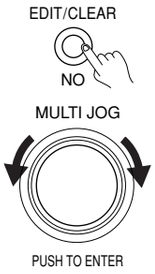


3. 移動するトラックを選ぶ

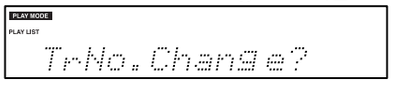




4. トラック移動モードを選ぶ



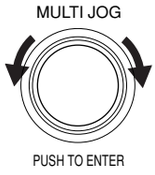
EDIT/CLEARボタンを押して、ジョグダイヤルで“TrNo.Change?”（トラックナンバーチェンジ）を選びます。



5. トラック移動モードを確定する

YESボタンを押してトラック移動モードにします。

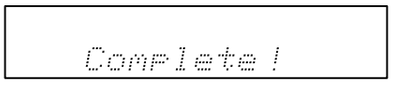
6.移動するトラック順を選ぶ



ジョグダイヤルで移動先のトラックを選びます。

7.移動を確定する

YESボタンを押すと入力が確定して、表示部に“Complete!”と表示されます。

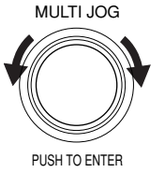


プレイリスト内のトラックを削除する

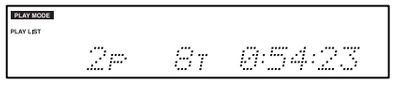
1. プレイリストモードにする

PLAY LISTボタンを押します。

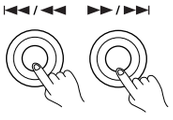
2. プレイリストを選ぶ

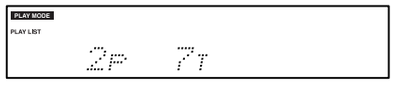


ジョグダイヤルを回してプレイリスト番号を選びます。

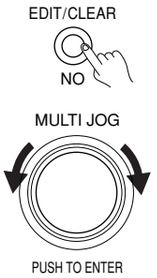


3. 削除するトラックを選ぶ





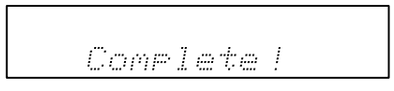
4. 1トラック削除モードを選ぶ



EDIT/CLEARボタンを押して、ジョグダイヤルで“1T Clear?”を選びます。

5.削除を確定する

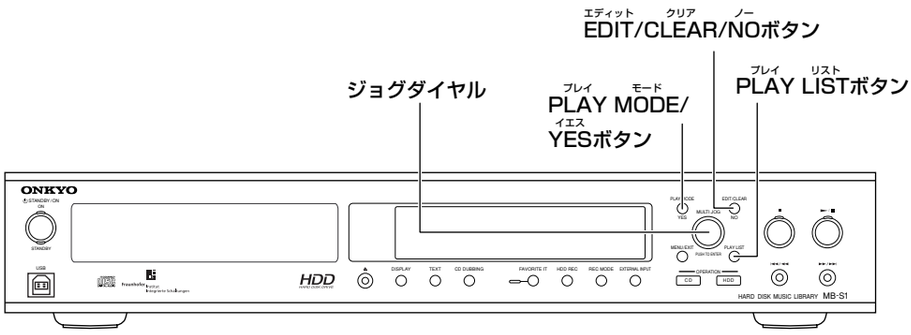
YESボタンを押すと入力が確定して、表示部に“Complete!”と表示されます。



お知らせ

プレイリストを編集・削除しても、HDDに録音されている曲情報が変更や削除されることはありません。

プレイリストを編集する

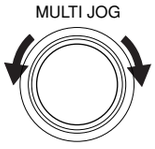


プレイリストを削除する

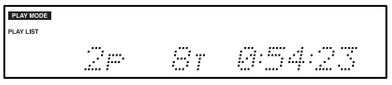
1.プレイリストモードにする

PLAY LISTボタンを押します。

2.プレイリストを選ぶ

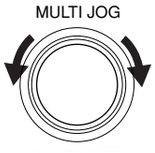


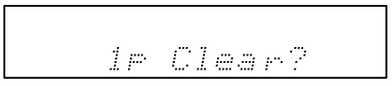
ジョグダイヤルを回して、消去したいプレイリストを選びます。



3. プレイリスト削除モードにする

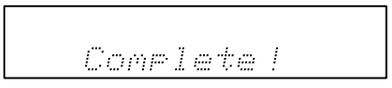
EDIT/CLEARボタンを押して、ジョグダイヤルで“1p Clear?”を選びます。



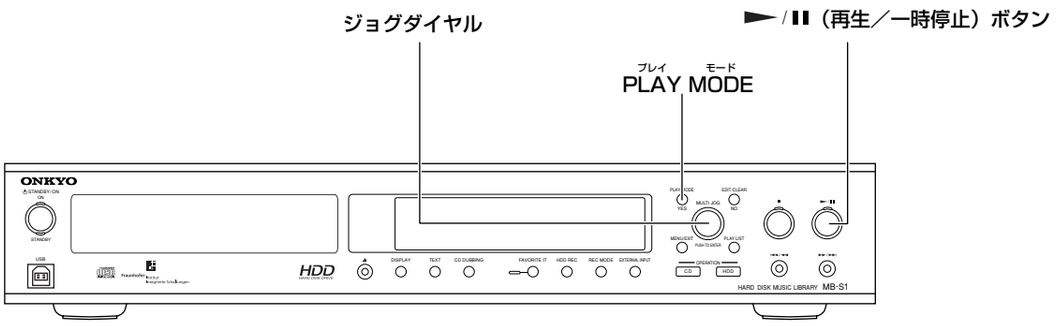


4.削除を確定する

YESボタンを押すと入力が確定して、表示部に“Complete!”と表示されます。



再生のいろいろな操作



並び換え演奏する（ソート）

HDDに録音したトラックを入力したデータを利用して並び換えて演奏することができます。

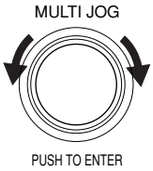
たとえば、

- HDDに登録したグループ、トラック順そのままに演奏
- タイトル名をつけているトラックだけをアルファベット順に演奏
- アルバム名をつけているトラックだけをアルファベット順に演奏
- アーティスト名をつけているトラックだけをアルファベット順に演奏
- ジャンル名をつけているトラックだけをアルファベット順に演奏
- トラックだけを日付けの新しいものから順に演奏

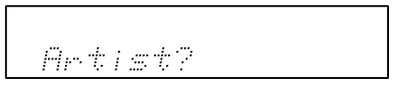
1. プレイモードにする

PLAY MODEボタンを押します。

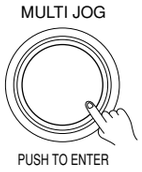
2. プレイモードを選ぶ



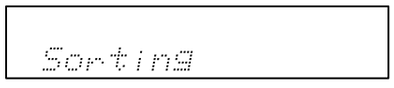
ジョグダイヤルを回すと、Group?、Title?、Album?、Artist、Genre?、Date?、とモードが変わります。



3. 確定する



ジョグダイヤルを押すと“Sorting”の文字が表され最初のトラックが表示されます。

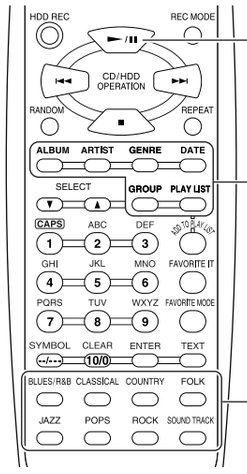


4. 再生する

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押して演奏を始めます。

リモコンで操作する

番号順に操作してください。



2. 演奏を始める

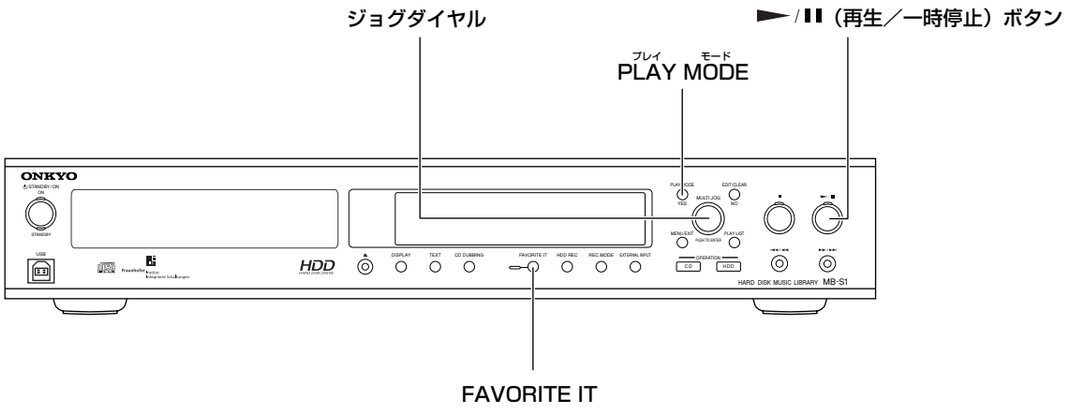
1. 好きなプレイモードのボタンを押す

ジャンルを選ぶ

ヒント

リモコンを使うと、BLUES（ブルース）/R&B（アールアンドビー）、CLASSICAL（クラシカル）、COUNTRY（カントリー）、FOLK（フォーク）、JAZZ（ジャズ）、POP（ポップ）、ROCK（ロック）、SOUND TRACK（サウンドトラック）の8つのジャンルについてはダイレクトに選ぶことができます。

再生のいろいろな操作



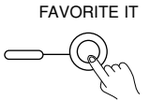
お気に入りに指定する（FAVORIT IT）

お気に入りの曲がある場合、データベースの中のトラックにマークを付けておくことができます。

お気に入りのマークのついたトラックは、お気に入りモードをONにしておくと、そのマークのついたトラックだけを拾い出して演奏します。

前ページの並び換え（ソート）演奏と一緒に使うこともできます。

1. お気に入りに指定する



FAVORITE ITボタンを押すと多目的表示部に“Favorite On”と2秒間表示され、インジケーターが緑色に点灯します。

演奏中でも指定することができます。もう一度押すと指定を取り消すことができます。

お気に入りの曲だけを演奏する

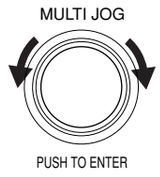
1. お気に入り演奏モード（FAVORITE MODE）にする

PLAY MODEボタンを2回押します。

```
Favorite Off ?
```

その時の設定が表示されます。

2. お気に入りの設定をする



ジョグダイヤルを回して“On”を選びます。

```
Favorite On ?
```

3. 確定する

ジョグダイヤルを押すと“Sorting”と表示され、お気に入りの曲ばかりが選ばれます。

```
Sorting
```

4. 再生する

►/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押して演奏を始めます。

■ お気に入りモードを解除するには

上記の操作手順2で“Favorite Off”に設定します。

再生のいろいろな操作

プレイモードの組み合わせについて

■ **並び換え演奏（ソート）とお気に入り演奏を一緒に使ったときは**

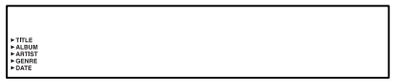
並び換えた中で、お気に入り指定されたトラックだけを演奏します。

■ **ランダム、リピート演奏と一緒に使ったときは**

選ばれたトラックをさらに順不同で演奏（ランダム）したり、くり返し演奏（リピート）します。

ディスプレイをテキスト表示にする

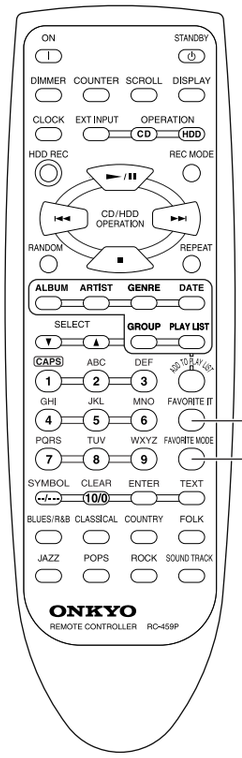
選んでいるトラックの曲名やアーティスト名を切り換えるには、DISPLAYボタンを押します。表示部左側の表示が順に切り換わり、多目的表示部に30、31ページで入力したテキストが表れます。



お知らせ

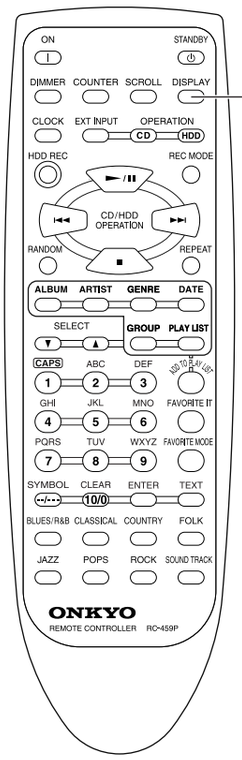
本機は2バイト文字（カタカナ・ひらがな・漢字等）の変換に対応しておりませんので、すでに何か2バイト文字が入っているCDやデータを本機に録音して文字表示した場合に、文字通り表示されません。

リモコンで操作する



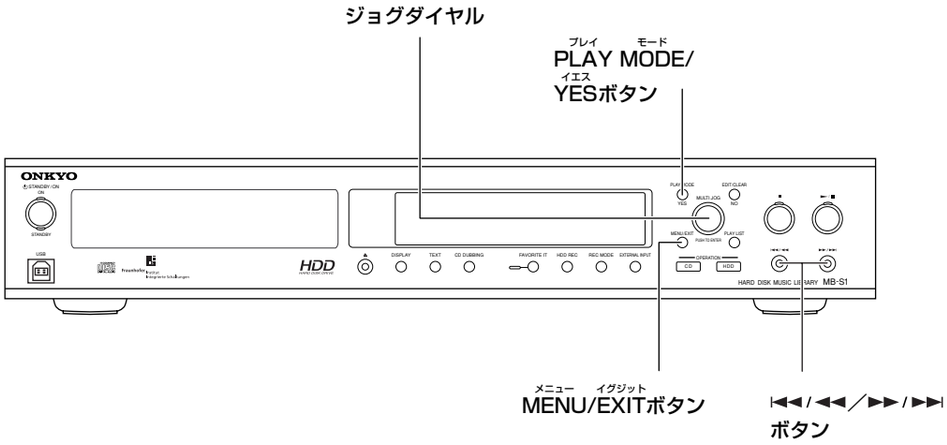
1. お気に入りに指定する
2. お気に入り演奏モードにする

リモコンで操作する



テキスト表示にする

タイマー機能を使う



タイマーを設定する

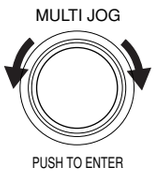
タイマーは、タイマー再生やタイマー録音等、4通りの設定が可能です。

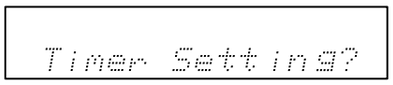
各々のタイマー設定に関して、HDD再生や外部機器の再生・録音、タイマーを起動させる時間と曜日などを設定でき、再生の場合はプレイリストの指定や録音の場合は録音先のグループ指定ができます。

1. メニューモードを呼び出す

MENUボタンを押すと、表示部にメニュー項目が表示されます。

2. タイマー設定メニューを選択する

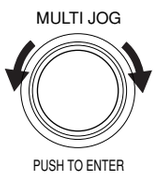


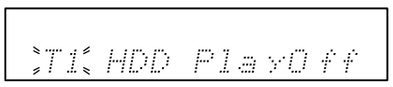


ジョグダイヤルを回して、“Timer Setting?”を選び、ジョグダイヤルを押して確定します。

このとき、“Clock Adjust”表示になった場合は21ページを参照して時計を合わせてください。

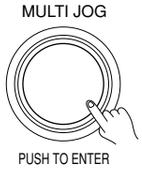
3. タイマーを選ぶ



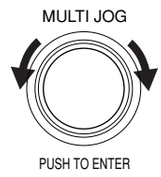


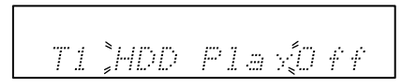
4種類のタイマー設定（T1～T4）を利用できます。

ジョグダイヤルを回して設定するタイマーを選び、ジョグダイヤルを押します。



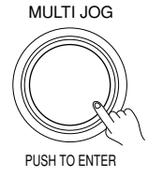
4. タイマーの動作を設定する





ジョグダイヤルを回し、選んだタイマーの動作を設定します。

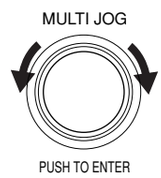
選んだら、ジョグダイヤルを押して確定します。

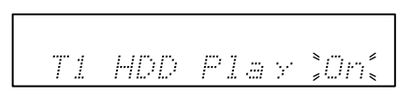


タイマーの動作

HDD Play：HDDを再生する
D-1 Rec：DIGITAL INPUT 1端子からの音声を録音する
D-2 Rec：DIGITAL INPUT 2端子からの音声を録音する
Ana Rec：ANALOG端子からの音声を録音する

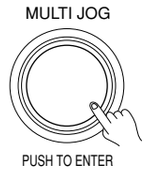
5. タイマーのオン／オフを設定する



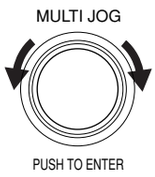


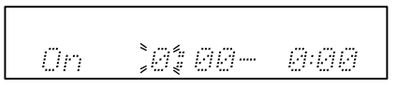
On/Offをジョグダイヤルで選び、ジョグダイヤルを押して確定します。

Offにしたときは、ここでタイマー設定モードは終了します。

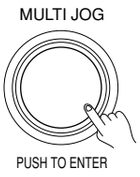


6. タイマーがスタートする時刻と終了する時刻を設定する





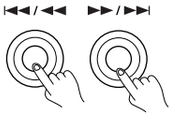
- ジョグダイヤルを回して時刻を設定します。ジョグダイヤルを押すと次の項目へ移動します。
- Onの時刻を設定すると、Offの項目に自動的に1時間後の時刻が表示されます。
- ⏮/◀◀／▶▶/⏭ボタンを押すと、前後の項目に移動させることができます。
- 設定できる最長録音時間は5時間59分59秒です。

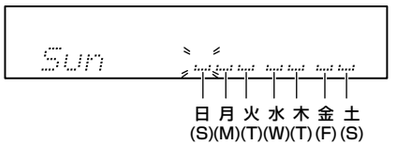


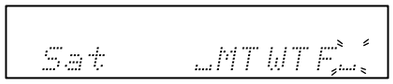
7. 時刻を確定します

YESボタンを押すと時刻を確定し、曜日を設定する表示になります。まずその日の曜日のところが点滅しています。

8. 曜日を設定する







⏮/◀◀／▶▶/⏭ボタンを押して、タイマーを有効にする曜日を選び、ジョグダイヤルを押します。

9. 曜日を確定する

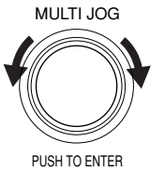
曜日を選んだら、YESボタンを押して確定します。

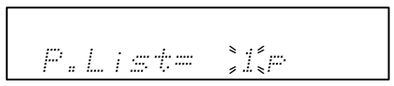
- 「4．タイマーの動作設定」で、HDD PLAYを選んだときは、「10. プレイリストを選ぶ」に進んでください。
- 「4．タイマーの動作設定」でRECを選んだときは、「11． 録音先のグループを選ぶ」に進んでください。

設定が完了すると、T.PLAYあるいはT.REC表示が点灯します。

10. プレイリストを選ぶ

（4.タイマーの動作設定が、HDD PLAYの場合のみ）

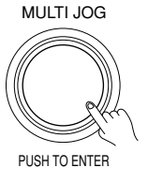




プレイリストをジョグダイヤルで選び、ジョグダイヤルを押して確定します。

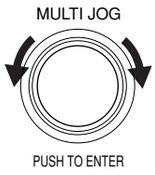
プレイリストを作っていない時は、“Current”表示が出て、最後に選んでいたグループを演奏します。

タイマーが確定し有効になります。



11. 録音先のグループを選ぶ

（4.タイマーの動作設定が、RECの場合のみ）

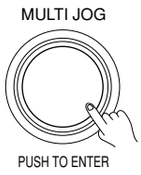


ジョグダイヤルを回して録音先のグループを選んでからジョグダイヤルを押します。Current、New、Fixから選びます。

Current：最後に録音、または再生したグループを録音先とします。

New：新しいグループを作成して録音します。

Fix：録音先のグループを指定できます。ジョグダイヤルを回して任意のグループを選び、押して確定します。



ご注意

- トラック番号は、音楽の録音レベルが下がったところで自動的に更新されます。1つの曲の間で無音になる所がある場合などはトラック番号が付くことがありますのでご了承ください。（26ページの手順4、「ヒント」参照）
- タイマーがスタートする時間に再生中だったり、何らかの操作をしていると、正しくタイマー動作しないことがあります。
- 電源がオン/スタンバイどちらでもタイマー動作を行います。
- タイマーは4種類設定することができますが、あるタイマーのスタートする時間に前のタイマーがまだ終了していないときは、後のタイマー設定は無視されます。
- 外部機器から録音するときは、その機器の電源をオンにしておいてください。

ヒント

- **タイマー再生や録音を、１度だけで次の日に作動させたくないときは：**

  動作終了後に手順5の操作で、“Off”に設定します。
- **おやすみタイマーとして使用したいときは（スリープ）：**

  手順4で“HDD Play”を選び、手順6でOff時間のところにタイマーを切りたい時刻を入れてください。
- **ウィークディ（月～金）の決まった時間に毎日録音したいときは：**

  手順4でソース機器を接続している端子(D-1REC、D-2 REC、ANA REC）を選び、手順6でその時間を入力します。

  手順8でMTWTFを点灯させます。同じグループに録音をしたければ手順11で“Fix”を選びます。

仕様

CD-ROM ドライブユニット	ATAPI（EIDE）、5.25インチハーフハイト
ハードディスクドライブユニット	ATA-5（EIDE）、3.5インチハーフハイト 20GB
D/Aコンバーター	1ビット方式（24bit/96kHz）
A/Dコンバーター	1ビット方式（24bit/96kHz）
周波数特性	5Hz—20kHz
録音時	
ひずみ率	0.007%（1kHz、0dB）
ダイナミックレンジ	90dB
SN比	90dB
再生時	
ひずみ率	0.007%（1kHz、0dB）
ダイナミックレンジ	90dB
SN比	90dB
チャンネルセパレーション	90dB
ワウ・フラッター	測定限界以下
出力レベル	2.0Vrms
電源および消費電力	AC100V、50/60Hz、24W
外形寸法	435×81×359mm（幅×奥行き×高さ）
質量	5.0kg

＊仕様および外観は予告なく変更することがあります。

Carry Tunesについて

本機に付属の音楽ファイル送信ソフト「Carry Tunes」を使うと、今までパソコンでしか聞けなかった音楽ファイルも、気軽にハイクォリティな音質で楽しむことができます。

■ MP3の再生機能

簡単操作でMP3形式の音楽ファイルを再生できます。

■ MP3テキストデータの編集機能

トラック名やアルバム名などの情報を編集できます。

■ MB-S1へMP3ファイルの送信機能

Carry Tunesから音楽ファイルをMB-S1のハードディスクへ送信（USB経由）、MB-S1側でハイクォリティな音質で再生できます。（送信するファイルは、チェックボックスまたはCHECK　ALLボタンで、簡単に選択できます。）

※CarryTunesでの再生、およびMB-S1への送信できる音楽ファイルは、MP3形式のみになります。

■ その他の機能

トラックリストの並び換え（ソート）機能。（リストの項目タイトルをクリック）

選択したトラックの総合計時間表示、総合計容量表示機能。

ファイル送信進行状況表示機能。（プログレスバー形式）
ファイル単位、サイズ単位で表示の切り換えが可能。

デバイスドライバとは?
パソコンで周辺機器を利用するために組み込まれるソフトウェアのこと。ドライバともいいます。

デバイスとは?
パソコンの周辺機器全般を意味します。

ヒント

付属CD-ROMには、各種ソフトウェアおよび本説明書で使用する音楽サンプルファイルなどが含まれています。

Carry Tunesをお使いいただくにあたり、下記注意事項をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書は、マウスやキーボードの使用方法など、Windowsの基本的な操作についてすでにご存知であることを前提に書かれています。
- 本製品を運用した結果の影響については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、誤操作、不具合により生じた損害などの純粋経済損失については、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、将来、予告なく変更されることがあります。
- 本書の一部または全部を無断で貸し出し、転載することは固くお断りします。
- Carry Tunesの名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000は、米国Microsoft corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。

Carry Tunes 目　次

必要なシステム構成 48

付属CD-ROM（Carry Tunes インストールディスク）を開封する前に 48

パソコンの設定 49
ドライバのインストール 49
ドライバのインストールを確認する 52

Carry Tunesのインストール 53
インストール手順 53

Carry Tunesを操作する 54
MP3ファイルをCarry Tunesに登録する 54
主な操作方法 54
MB-S1にMP3ファイルを転送する 55

必要なシステム構成

本機と接続してファイル転送を行うには、下記条件をみたすパソコン、周辺機器、ソフトウェアが必要になります。

- USB端子を持つIntel Pentium II 233MHz以上のパソコン（推奨Intel Pentium III 450MHz以上）
- 60MB以上のハードディスク空き容量
- 64MB以上のRAM（推奨128MB以上）
- CD-ROMドライブ（または相当品）
- Windows 98SE/Me/2000
- 画面の解像度800 x 600以上、ハイカラー以上
- サウンドデバイスが組み込まれていること（詳細はWindowsのヘルプをご覧ください。）

必要動作環境を満たすパソコンであっても、パソコン固有の設計仕様やお客様の使用環境の違いにより、本機の動作が正常に行なわれない場合があります。

付属CD-ROM（Carry Tunes インストールディスク）を開封する前に

本製品に含まれているソフトウェアを開封される前に必ずお読みください。
本製品に含まれているソフトウェアを開封されると、本契約の内容を承諾したことになります。本契約の内容に同意できない場合は、ソフトウェアのセットアップ（インストール）を行わないでください。

使用許諾契約書

本使用許諾契約書（以下、本契約書）は、オンキヨー株式会社（以下、弊社）が提供するソフトウェアと、それに付属するマニュアルなどの印刷された資料に関する使用条件を定めるものです。

第1条（定義）

1. 「本ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるソフトウェア（製品名「Carry Tunes」ライセンス数1）、フォント、チュートリアルファイル、ヘルプファイルなどの使用方法を説明したデータなどデジタル情報の一部または全部を指します。なお、本ソフトウェアに含まれる第三者の著作権に関しても、本契約書が適用されます。
2. 「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルなどの印刷された資料を指します。
3. 「お客様」とは、本契約とともに提供された本ソフトウェアを含む製品を購入し本契約書に同意いただいた個人または法人を指します。

第2条（使用条件）

1. お客様は、本ソフトウェアを1台のコンピュータにセットアップ（インストール）してご利用いただけます。
2. お客様のうち特定のただ一人が使用するコンピュータが複数ある場合には、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件の下、特定の個人ただ一人が使用するコンピュータに限り複数セットアップすることができます。
3. 本契約書は、本ソフトウェアの不具合修正などの目的で改訂したソフトウェアに対しても適用されるものとします。ただし、改訂されたソフトウェアと改訂前のソフトウェアは同一のコンピュータにセットアップされている場合に限ります。

第3条（制限）

お客様は、下記の項目を行うことはできません。

1. 本契約書に定めのない、複数コンピュータのセットアップ（インストール）または複製（コピー）。
2. 関連資料の複製（コピー）。
3. 本ソフトウェアに含まれるプログラムの改変またはカスタマイズ、リバースエンジニアリング。
4. 本ソフトウェアの第三者への再配布、再使用許諾。
5. 本ソフトウェア（複製物を含む）の貸与（レンタル）、疑似レンタル、中古品としての販売、譲渡。
6. 本ソフトウェアをネットワークコンピュータやサーバーから第三者が複製またはダウンロードできる状態にしておくこと。

前項までの規定は、本ソフトウェアを改訂した製品をご購入した場合にも継続して適用されます。

第4条（保証範囲）

1. 弊社は、本ソフトウェアまたは関連製品に物理的な瑕疵がある場合、お客様がご購入後30日間に限り、弊社の判断に基づき交換いたします。ただし、地震、火災などの天災もしくは戦争による破損、または、お客様のご購入後の故意、過失、誤った使用によって生じた破損についてはこの限りではありません。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能がお客様の使用目的と適合することを保証するものではありません。弊社は、本製品の物理的瑕疵について保証するものであり、本ソフトウェアまたは関連資料の使用または使用不能から生ずる直接的または間接的被害については一切責任を負いません。
3. 弊社は、本ソフトウェアを使ってお客様がおこなったいかなる行為についても、その責任を負いません。

第5条（期間）

1. 本契約は、本契約が成立した時点、すなわち本ソフトウェアをセットアップ（インストール）した時点に始まり、お客様が本ソフトウェアの使用を停止するまで有効とします。お客様は、本ソフトウェアの使用を停止した時点で、本ソフトウェアおよび関連資料の一切を破棄するものとします。
2. お客様が本契約書に違反した場合は、本契約を解除してお客様の本ソフトウェアの使用を停止させることができます。弊社が、本ソフトウェアの停止を通知した場合には、お客様は速やかに本ソフトウェアおよび関連製品の一切をお客様の費用負担で弊社に返却するものとします。

第6条（一般条項）

本契約書に関して生じた紛争については、大阪地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

パソコンの設定

MB-S1をはじめてパソコンに接続する際にはドライバのインストールが必要になります。

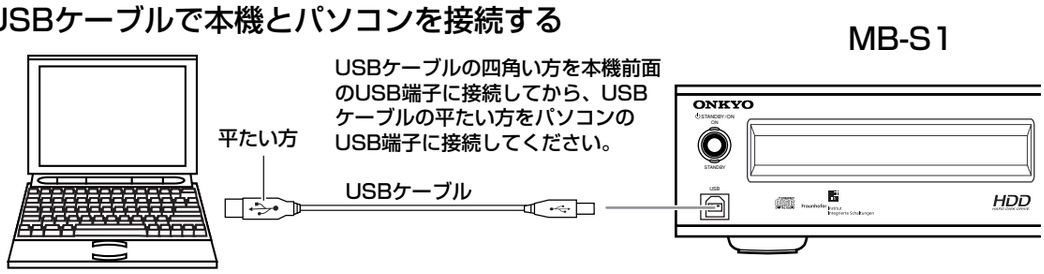
ドライバのインストール

1. パソコンの電源を入れる

起動していることを確認してください。

2. 本機の電源をONにする

3. USBケーブルで本機とパソコンを接続する



手順4以降の設定は、Windows 98SE/Meの場合はこのページを、Windows 2000の場合は50ページの右頁手順4をご覧ください。

Windows 98SE／Me

4. パソコンの画面上に「新しいハードウエアの追加ウィザード」が表示されます。［次へ］をクリックします。

5. ［次へ］をクリックします。

6. 付属のCD-ROM（Carry Tunes インストールディスク）をCD-ROM ドライブに入れる。

「Carry Tunes インストール CD」ウィンドウが表示された場合は、［終了］をクリックして画面を消します。

7. ドライバファイルを特定するために「CD-ROMドライブ」のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

ドライバを再インストールする場合は、「検索場所の指定」にチェックボックスを入れ、［参照］でドライバを選んでください。上記のイラストでは、CD-ROMドライブを「D:」にしています。

8. ［次へ］をクリックします。

9. ［完了］をクリックします。

10. 次のドライバ検索に入るので、［次へ］をクリックします。

11. ［次へ］をクリックします。

12.「CD-ROMドライブ」のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

ドライバを再インストールする場合は、「検索場所の指定」にチェックボックスを入れ、［参照］でドライバを選んでください。上記のイラストでは、CD-ROMドライブを「D:」にしています。

13. ［次へ］をクリックします。

14. ［完了］をクリックします。

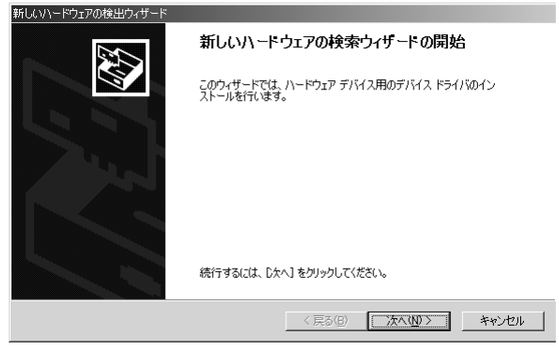
これで、ドライバのインストールが終了しました。

Windows 2000

49ページの手順1～3から続く。

4. ハードウェアの検索が始まります。

パソコンの画面上に「新しいハードウエアの検索ウィザード」が表示されます［次へ］をクリックします。



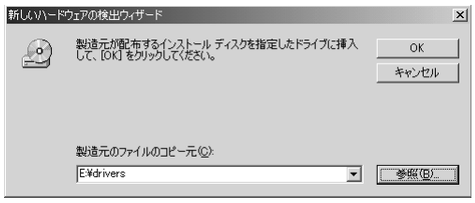
5. ［次へ］をクリックします。

6. ドライバファイルを特定するために「CD-ROMドライブ」のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックします。

ドライバを再インストールする場合は、「場所を指定」にチェックボックスを入れてください。

7. 付属のCD-ROM（Carry Tunes インストールディスク）をCD-ROM ドライブに入れ、[OK] をクリックします。

「Carry Tunes インストール CD」ウィンドウが表示された場合は、［終了］をクリックして画面を消します。



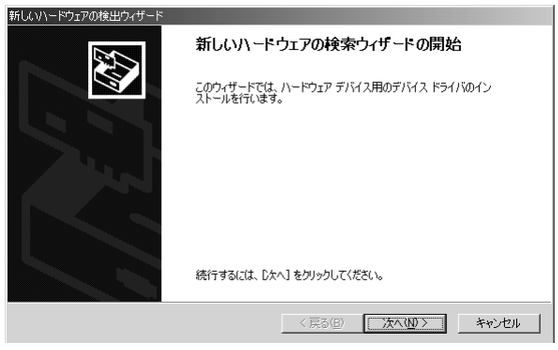
手順6で「場所を指定」にチェックボックスを入れた場合は、［参照］でドライバを選んでください。上記のイラストでは、CD-ROMドライブを「E:」にしています。

8. ［次へ］をクリックします。

9. ［完了］をクリックします。

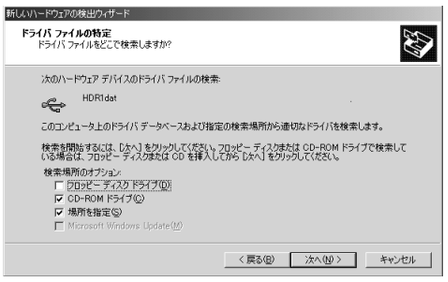
10. 次のドライバ検索に移ります。

下の画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。



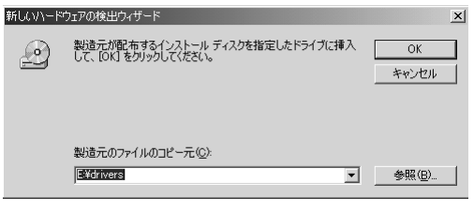
11. ［次へ］をクリックします。

12.「CD-ROMドライブ」のチェックボックスにチェックを入れ、［次へ］をクリックします。



ドライバを再インストールする場合は、「場所を指定」にチェックボックスを入れてください。

13. ［OK］をクリックします。



手順12で「場所を指定」にチェックボックスを入れた場合は、［参照］でドライバを選んでください。上記のイラストでは、CD-ROMドライブを「E:」にしています。

14.［次へ］をクリックします。

15.［完了］をクリックします。

これで、ドライバのインストールが終了しました。

ドライバのインストールを確認する

1.［スタート］ボタン→［設定］→［コントロールパネル］をクリックする

2.［システム］アイコンをダブルクリックする

3. Windows 2000をお使いの場合のみ、［ハードウェア］をクリックする

4.［デバイスマネージャ］をクリックする

Windows 98SE/Meをお使いのとき

インストールされているのを確認する

5. ダイアログボックスが、次のようになっていることを確認する

ユニバーサル・シリアルバス・コントローラの下の階層にMBS1/HDR1 Command Driver、MBS1/HDR1 Data Driver、USB ルートハブ、汎用USBハブがあります。

ご注意

- サウンドデバイスが正しく動作していることをご確認ください。詳しくは、ご使用になっているPCの取扱説明書をご参照ください。
- ユニバーサル・シリアルバス・コントローラの欄が「不明なデバイス」になっているときは、USBケーブルをいったん抜き、もう一度接続して、認識させてください。
- Windows Meでデバイスマネージャの「USB互換デバイス」と「汎用USBハブ」に緑色の「?」マークが表示されることがありますが、機能や動作については問題ありません。
- USBケーブル接続時やパソコン起動時のUSBデバイスの認識に約15秒かかる場合があります。この間は、絶対にアプリケーションの立ち上げなどパソコン上の操作をしないでください。また、パソコンのアプリケーションが動作中に、USBケーブルを抜かないようにしてください。

Carry Tunesのインストール

インストール手順

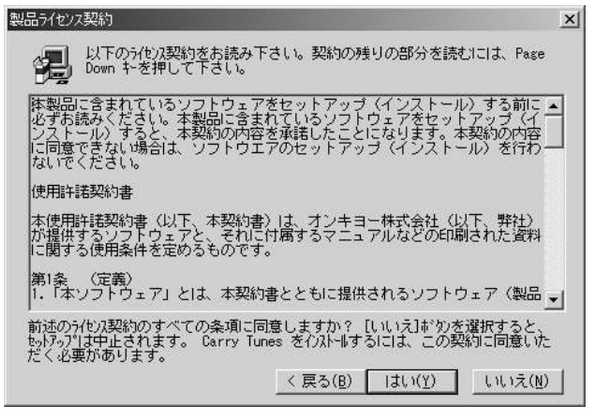
1. 付属のCD-ROMをパソコンにセットする

セットアップメニューが自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、［CtStart］をダブルクリックします。

2. 「CarryTunes インストールディスク」ウインドウの［インストール］をクリックする

3. CarryTunesセットアップ画面が表示されるので、［次へ］をクリックする

4. ライセンス契約画面が表示されるので、お読みになり、［はい］をクリックする



5. 「インストール先の選択」画面が表示されるので、［次へ］をクリックする

6. 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されるので、［次へ］をクリックする

7. セットアップの完了画面が表示されるので、［完了］をクリックする

CarryTunesのセットアップが完了しました。

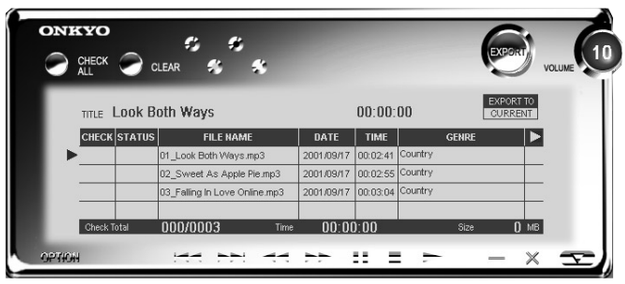
Carry Tunesを操作する

MP3ファイルをCarry Tunesに登録する

1. Carry Tunesを起動する

［スタート］→［プログラム］→［Carry Tunes］→［Carry Tunes］を選択します。

デスクトップに［Carry Tunes］のアイコンがある場合は、アイコンをダブルクリックします。



2. 登録したいMP3ファイルをCarry Tunesにドラッグ&ドロップする

付属のCD-ROMにサンプルのMP3ファイルを収録してあります。

サンプルファイルを使用するには、付属のCD-ROMをCDドライブにセットしてください。

セットアップメニューから［サンプル曲フォルダを開く］をクリックすると、サンプルファイルを収録したフォルダが開きます。MP3ファイル以外のファイルは登録できませんので、ドラッグ&ドロップしないでください。

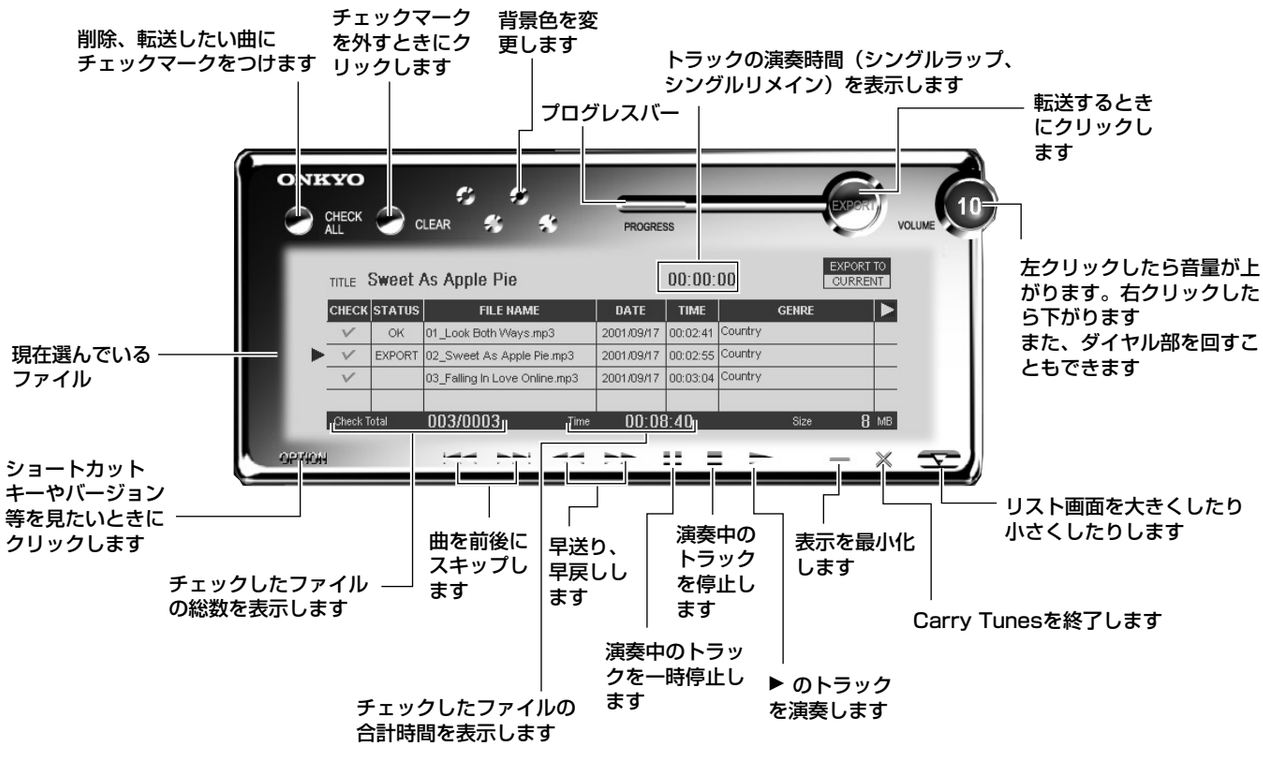
MP3ファイルであるかどうかを確認するには、ファイルを右クリックしてプロパティを開き、拡張子がMP3になっていることを確認してください。

※CD-ROMをセットしてもセットアップメニューが自動起動しない場合は、CD-ROMを開いて［CtStart］をダブルクリックしてください。

音楽ファイルを開く

3. ドロップしたMP3ファイルが、Carry Tunesに表示されます

主な操作方法

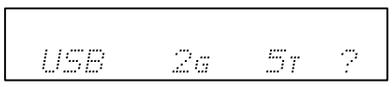


Carry Tunesを操作する

MB-S1にMP3ファイルを転送する

1 MB-S1とパソコンが正しく接続されていることを確認する

正しく接続されている場合、MB-S1の表示部は下のようになります。



2.転送する曲を選択する

リストの［CHECK］項目をクリックすると1曲単位で選択・解除ができます。

登録した全ての曲を選択するには、［CHECK ALL］ボタンをクリックします。［CLEAR］ボタンをクリックすると、全ての曲について選択解除できます。

3.転送先を指定する

［EXPORT TO］をクリックすると、［CURRENT］と［NEW］が交互に表示されます。

［CURRENT］を選択した場合は、MB-S1のHDDで現在選択されているグループにチェックしたMP3ファイルが転送されます。

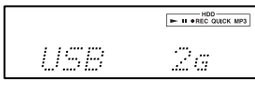
［NEW］を選択した場合は、MB-S1のHDDに新しいグループが作成され転送されます。

MB-S1本体の表示部もあわせてご確認ください。

4.［EXPORT］ボタンをクリックすると転送を始める

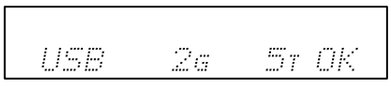
画面のプログレスバーが、転送状況を知らせてくれます。

MB-S1には、どのグループの何番目のトラックに転送されているか表示されます。



5.転送完了

転送した曲はリストからなくなり、MB-S1には完了が終了したことを示す表示が出ます。



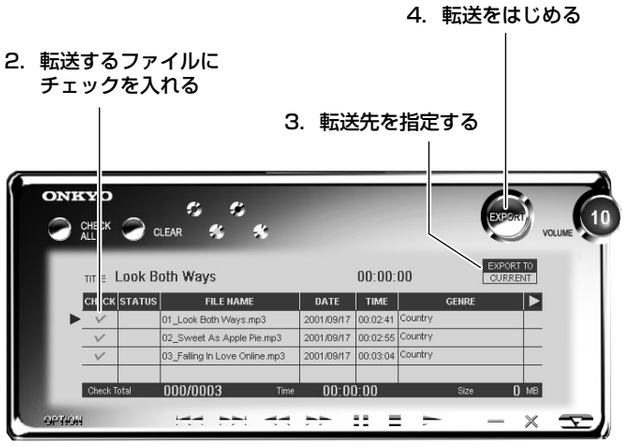
6.Carry Tunesを終了する

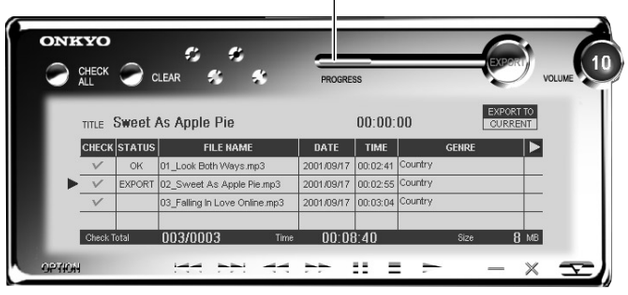
右下の×印をクリックします。

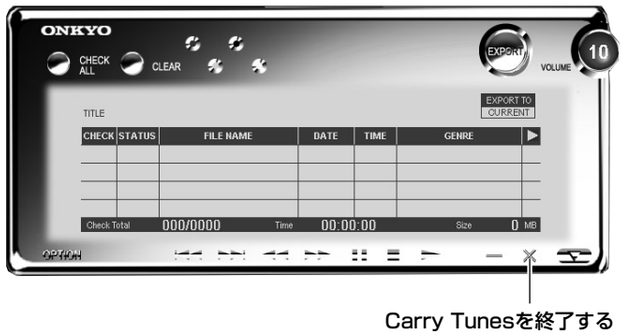
終了したあとMB-S1で音を聞くときはUSBケーブルをはずしてください。

<Carry Tunesについてのお知らせとご注意>

- RIFF WAVE形式等、MP3ファイルでも対応しないものがあります。
- MP3ファイルに含まれるタグ情報が壊れて不正な状態になっている場合、正常な動作をしない場合があります。







故障？と思ったら

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
表や他機の取扱説明書で点検しても正常に動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店、またはオンキョーサービスステーションまでご連絡ください。その際に「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名MB-S1」と「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお知らせください。

分類	症　状	原　因	処　置	参照ページ
全体	電源が入らない。	• 電源プラグの差しこみが不完全になっている。	· 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	15
		• 本機の電源コードを接続している機器（アンプ など）の電源が入っていない。	· 電源コードを接続している機器の電源を入れてください。	—
	リモコンのボタンも、本体のボタンも操作を受け付けない。	• コンピュータが誤動作している。	· STANDBY/ONボタンを押してください。それでも動作を受け付けないときは、電源プラグを差し直してください。	—
再生	再生できない。	• 結露（内部に水滴が付着）している。	· 結露の可能性がある場合は、室温で1～2時間放置してからご使用ください。	16
	音とびする。	• 本機に振動が加わっている。	· 振動のない場所に設置してください。	—
	音とびする。（CD）	• CDに大きな傷がある。	· CDを取り換えてください。	—
		• CDがひどく汚れている。	· CDの演奏面をクリーニングしてください。	16
	ディスクが入っているのに再生しない。（CD）	• CDの裏表が逆になっている。	· レベル面を上にしてCDを入れ直してください。	22
		• CDがひどく汚れている。	· CDの演奏面をクリーニングしてください。	16
		• CDが損傷している。	· CDを取り替えてください。	—
		• なにも録音されていないCD-Rが入っている。	· 音楽CDやMP3ファイルの入っているディスクと取り替えてください。	16
	選曲時間が長すぎる。(CD)	• CDがひどく汚れている。	· CDの演奏面をクリーニングしてください。	16
		• CDが損傷している。	· CDを取り替えてください。	—
	ANALOG入力録音を再生すると音が小さい。(HDD)	• 録音レベル（REC LEVEL）が最適でない。	· 録音レベルを調整してください。	26、27
		• 録音レベルが“Low”の設定になっている。	· 録音レベルを“Norm”にしてください。	—
	MP3再生でビットレート表示が出ない。(HDD)	• ビットレートが96、128、192 kbps以外のファイルを再生している。	· 左記以外のビットレートのMP3の場合は、ビットレート表示はしません。	11
		• 可変ビットレートのMP3ファイルは、正しいビットレート表示を保証できません。	· 固定ビットレートの MP3ファイルを作ってください。	—
録音／編集	録音できない、あるいは、録音できていなかった。	• 正しく接続されていない。	· 接続を確かめてください。	14、15
		• デジタル録音なのに、光ケーブルあるいは同軸ケーブルが接続されていない。	· ケーブルが正しく接続されているか確かめてください。	14、15
		• コピーガードがかかっている。	· コピーガードがかかっているデータは、録音できません。	17
		• 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になった。	· もう一度録音しなおしてください。	—
		• 入力切り換えが正しく選択されていない。	· 接続している入力に切り換えてください。	26
	録音すると音がひずむ。	• テレビからの影響を受けている。	· テレビの電源を切るか、テレビから本体を離してください。	—
		• レコードからの録音で、録音レベルが“Norm”になっている。	· 録音レベルを“Low”にしてください。	27
	テキスト入力ができない。	• CD操作のときにテキスト入力しようとした。	· CDの場合は、テキスト入力はできません。	—

故障？と思ったら

分類	症　状	原　因	処　置	参照ページ
タイマー	タイマーが働かなかった。	• タイマーの設定時刻が重なっていた。	• 2つ以上のタイマーをオンにしているときは、時刻が重ならないようにセットしてください。	44、45
	タイマー再生したが音が出なかった。	• アンプの音量が最小になっていた	• 前もって適当な音量に調節しておいてください。	ー
その他	システム動作しない。	• 接続が不完全である。	• 各コードの接続を確認してください。 また、RI接続だけでなく、オーディオ用ピンコードも接続されているか確認してください。	15
	リモコンで操作ができない。	• 電池が消耗している。	• 電池を交換してください。	9
		• リモコン受光部とリモコンの間が離れすぎている、または角度が悪い。	• リモコンの有効操作範囲を確認してください。	9
		• リモコンとリモコン受光部の間に障害物がある。	• リモコンの操作場所をずらすか、障害物を取り除いてください。	9
Carry Tunes	CarryTunesで音楽データが転送できない。	• MP3以外のデータを転送しようとしている。	• MP3データのみ転送可能です。	54、55
	機器を認識しない。	• USBケーブルの接続が不完全。	• USBケーブルの接続を確認してください。	49
		• デバイスドライバのインストールが不完全。	• デバイスドライバが正しくインストールされているか確認してください。	52

故障？と思ったら

エラーメッセージ一覧

メッセージ	意味
(Undefined)	ジャンル選択のときに、現在の曲にジャンル情報がない、もしくは選択可能なジャンル以外のジャンル名が入っている。
Clock Adjust	時刻設定がまだのときに表示されます。
Copy Protect	コピー禁止のものを録音しようとした。
Group Full	999グループを超えて録音しようとした。
HDD Check ...	システムエラーが発生した。しばらく何もせずにお待ちください。
HDD Check 999	システムエラーが発生した。カウントダウンしている間は、何もせずにお待ちください。
HDD Media Full	HDDの容量が満杯になった。
HDD Only	HDDのときしか使えません。
HDD Track Full	HDD収容最大曲数10000曲に達している。
New########Full	録音グループの位置切り換え表示（Current New）で、グループ数がいっぱいで入れることができない。
No Disc	ディスクが入っていない。
No Favorite	お気に入りでソートしたが、お気に入り曲が１件もない。
No Genre	ジャンルを選択して再生しようとしたが、ジャンルの入ったトラックが無かった。
No Group	HDDにグループが存在しない.
No Playlist	プレイリストを選択しようとしたが、プレイリストがなかった。
No Track	トラックが無い、あるいはダイレクト再生などで該当トラックが無い。
Not Audio-CD	CDに入っているデータがPCM/MP3フォーマットでない。
Not Available in this Source	現在の入力ソースでは働きません。
Not Available MP3CD	MP3データの入っているCDのときは、レックモードは選べません。
P.List Full	プレイリストに100を超えるトラックを登録しようとした。
System Err...Please Power Off & On	システムエラーが発生した。STANDBY/ONボタンを押してください。
Track Full	255トラックを超えて録音しようとした。

※本機に接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

※本機はマイクロコンピューターを搭載して高度な機能を実現していますが、このマイクロコンピューターが高性能かつ繊細なため、ごくまれに外部からの雑音や妨害電波、静電気などをひろって誤動作するときがあります。このようなときは、電源コードを壁のコンセントから一度抜き、5秒以上たってからつなぎなおしてください。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象にはなりませんので大事な録音をするときには、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

ONKYO

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：　ホームシアター/オーディオ製品　→　customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→　mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL.　：　ナビダイヤル 0570 - 01 - 8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または 072 - 831 - 8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX.　：　072 - 831 - 8124 ＊〒572 - 8540　大阪府寝屋川市日新町 2 － 1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ　→ http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ　→ http://www.e-onkyo.com

修理窓口

修理のご依頼は、取扱説明書の「故障かな？と思ったときは」または「故障？と思ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障で、お困りの場合は、下記へご相談ください。

パソコン用スピーカー以外のマルチメディア製品は、

マルチメディアサポートセンター	TEL 072 - 831 - 7305　FAX 072 - 831 - 8124 〒572 - 8540 大阪府寝屋川市日新町 2 - 1

ホームシアター/オーディオ製品とパソコン用スピーカーは、

北海道地区	
札幌サービスステーション	TEL 011 - 747 - 6612　FAX 011 - 747 - 6619 〒001 - 0028 札幌市北区北２８条西5 - 1 - 28　トーシン北28条ビル
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区	
仙台サービスステーション	TEL 022 - 297 - 0571　FAX 022 - 257 - 7330 〒984 - 0051 仙台市若林区新寺4 - 9 - 5　第二丸昌ビル1F
茨城・栃木地区	
宇都宮サービスステーション	TEL 028 - 634 - 4307　FAX 028 - 634 - 4308 〒320 - 0831 栃木県宇都宮市新町2 - 7 - 7
群馬・埼玉・新潟地区	
大宮サービスステーション	TEL 048 - 651 - 8612　FAX 048 - 651 - 9137 〒330 - 0034 埼玉県さいたま市土呂町2 - 29 - 2　高安ビル１F
千葉・東京(23区)地区	
東京サービスセンター	TEL 03 - 3861 - 8121　FAX 03 - 3861 - 8124 〒111 - 0054 東京都台東区鳥越１- 2 - 3　ハマスエビル
東京(23区を除く)・山梨・長野地区	
八王子サービスステーション	TEL 0426 - 32 - 8030　FAX 0426 - 36 - 9312 〒192 - 0914 東京都八王子市片倉町 358 番地
神奈川地区	
横浜サービスステーション	TEL 045 - 322 - 9342　FAX 045 - 312 - 6603 〒220 - 0072 横浜市西区浅間町１- 13　共益ビル５F
岐阜・静岡・愛知・三重地区	
名古屋サービスステーション	TEL 052 - 772 - 1229　FAX 052 - 772 - 1331 〒465 - 0013 名古屋市名東区社口１丁目1001 番
富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区	
大阪サービスセンター	TEL 06 - 6576 - 7620　FAX 06 - 6576 - 7604 〒552 - 0013 大阪市港区福崎2丁目１番地 49 号
鳥取・島根・岡山・広島・山口(下関を除く)地区	
広島サービスステーション	TEL 082 - 262 - 3315　FAX 082 - 262 - 6571 〒732 - 0057 広島市東区二葉の里2 - 8 - 28
徳島・香川・愛媛・高知地区	
高松サービスステーション	TEL 087 - 868 - 5662　FAX 087 - 868 - 5672 〒760 - 0079 高松市松縄町 44 - 8　西原ビル1F
山口(下関)・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区	
福岡サービスステーション	TEL 092 - 418 - 1357　FAX 092 - 418 - 1358 〒812 - 0006 福岡市博多区上牟田3 - 8 - 19　みなみビル202

2001年06月現在　お客様相談窓口･修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

SN 29358031F-1
F

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（ＭＢ-Ｓ１）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しくお買い上げ店、または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日

ご購入店名：

Tel. ( )

メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくはサービス網一覧表記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター　☎03（3861）8121　●大阪サービスセンター　☎06（6576）7620

ONKYO HOMEPAGE
http://www.onkyo.co.jp/

SN 29343224A

Printed in Japan
D0110-1